

令和8年度第2回加東市まちづくり推進市民会議次第

と き 令和8年10月22日（木）午後2時～

ところ 加東市役所 2階 201会議室

1 開会

2 報告・協議事項

(1) 第2次加東市総合計画後期基本計画の総括について

【資料1】第2次総合計画 後期基本計画 総括シート〔政策Ⅰ・Ⅱ・Ⅶ・Ⅷ〕

(2) 第3次加東市総合戦略（後期基本計画（重点戦略））で出た意見について

【参考資料】意見概要

3 その他

(1) 今後の会議開催日程について

イ 第3回 令和8年11月16日（月）午後2時～ 加東市役所2階 201会議室

4 閉会

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

(10/22 第2回加東市まちづくり推進市民会議資料)

政策	担当部署	頁	主要施策数	主要施策番号	備考
Ⅰ：未来を創造する子どもたち を育む学びのまち	こども未来部		6	1～6	
	小中一貫教育推進室	P1～2	1	1	
	学校教育課	P3～10	3	2～4	
	発達サポートセンター	P11～12	1	5	
	こども教育課	P13～15	1	6	
Ⅱ：学習環境が充実した文化 あふれるまち	教育振興部		5	7～11	
	教育総務課	P17～19	1	7	
	生涯学習課	P21～31	3	8～10	
	中央図書館	P33～34	1	11	
Ⅶ：安全でおいしい水と快適な 生活環境が持続されたまち	上下水道部		1	39	
	管理課・工務課	P35～37	1	39	
Ⅷ：戦略的経営と協働で創造する 魅力あふれるまち	まちづくり政策部・秘書広報課		8	40～47	
	企画政策課	P39～46	3	40, 41, 44	
	デジタル推進課	P47～50	2	42, 46	
	人事課	P51～52	1	43	
	まちづくり創造課	P53～54	1	45	
	秘書広報課	P55～56	1	47	

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	I	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施 策	1	学校教育の充実	36
主要施策	1	小中一貫教育の推進	ページ

部	こども未来部	課	小中一貫教育推進室	所管部長	近澤孝則	役職	副課長	氏名	泥谷智明
				所管課長	高田篤	役職	副課長	氏名	朝あゆみ
						役職	主査	氏名	宇高健太

将来あるべき姿
小学校と中学校の垣根を越えた系統性や連続性のある小中一貫教育により、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもたちが育っています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		R5～R7における成果	次期計画に向けた課題・取組方針	総合評価
① 小中一貫校の整備【総合戦略】	⇒	社域域小中一貫校は、新築工事や長寿命化改修工事、備品購入、環境整備などを推進し、令和7年4月に社学園小・中学校を開校した。滝野地域小中一貫校は、令和10年4月の開校に向けて、校歌・校訓・校章や通学路選定の協議を進めるとともに、実施設計や先行工事等を経て本体工事に着手した。また、東条学園・社学園において、4-3-2制や教科担任制、学校運営協議会等を導入して小中一貫校としての学びや運営を推進したほか、小中一貫教育だよりを発行して小中一貫教育の市民への周知を図った。	建設工事にあたっては、生徒の安全や学校運営と、適正な工事工程の両立を図る必要がある。 通学路の安全・安心を確保するため、地域や学校、関係機関と連携しながら、通学路の選定や安全対策を進める必要がある。	一次(内部) R5～R7成果 A 目標達成状況 A R5 R6 A A
② 郷土愛の醸成【総合戦略】	⇒	教職員からなるふるさと学習「かとう学」改訂委員会を立ち上げ、取材に取り組み、ふるさと学習「かとう学」副読本の改定を行った。加東市のひと・もの・ことから学ぶ、ふるさと学習を推進できた。	ふるさと学習「かとう学」副読本を活用し、教科横断的な学習を実施する。ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもを育成するため、令和8年度にふるさと学習「かとう学」の別冊を製本し、上下巻のデジタル化を進める。	二次(外部) R5 R6 A A 【一次(内部)評価理由】 工事を予定通り進行し、令和7年4月に社学園小学校・中学校を開校することができた。また滝野学園の工事も令和10年4月の開校に向けて、予定通り進捗している。ふるさと学習「かとう学」は、副読本の改定を行い、ふるさと学習の推進を図っている。 【二次(外部)評価意見等】 【評価基準】 R5～R7成果 S:取組により十分な成果があった A:取組により概ね目標とする成果があった B:取組により一部成果があった C:取組(時期・内容)に改善が必要 【目標達成状況】 S:全ての指標を達成した A:全ての指標の達成率が90%以上 B:過半数の指標の達成率が60%以上 C:半数以上の指標の達成率が60%未満 【総合評価】 S:十分な成果があった A:概ね目標とする成果があった B:一部成果があった C:成果が不十分で改善が必要
	⇒			
	⇒			
	⇒			
	⇒			
	⇒			

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①中学生(7年生)になることへの不安がない児童の割合	児童生徒アンケートにおいて、中学生(7年生)になることに不安がないと回答した児童の割合	%	—	↑	64.1 (R4)	66.0 66.8	68.0 72.5	70.0 69.1	72.0	74.0	101.2% ★★★	106.6% ★★★	98.7% ★★		
②ふるさと加東への愛着度	児童生徒アンケートにおいて、自分が住んでいるまちを大切にしたいと回答した児童・生徒の割合	%	→	↑	76.6	77.0 75.4	78.0 75.8	79.0 76.2	80.0	81.0	97.9% ★★	97.2% ★★	96.5% ★★		

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	社地域小中一貫校整備事業	○	開校記念式典の開催	5,090,242	3,196,710	1,426			8,288,378	○	完了			
				小中一貫校建設工事、長寿命化改修工事、小中一貫校開校準備委員会の運営	4,030,051	2,664,126	1,351			6,695,528					
					79.2%	83.3%	94.7%	—	—	80.8%					
					○	○	○								
2	①	社地域小中一貫校備品購入事業	○	社地域小中一貫校増築校舎等に必要な備品の購入	45,884	310,635	8,186			364,705	○	完了			
				社地域小中一貫校増築校舎等に必要な備品の購入	18,758	217,011	7,843			243,612					
					40.9%	69.9%	95.8%	—	—	66.8%					
					○	○	○								
3	①	滝野地域小中一貫校整備事業	○	小中一貫校建設工事、小中一貫校開校準備委員会の運営	541,926	711,140	2,576,379	3,793,797	3,204,852	10,828,094	○	継続			
				用地取得、実施設計、先行工事	493,733	448,171	1,229,251			2,171,155					
					91.1%	63.0%	47.7%	0.0%	0.0%	20.1%					
					○	○	○	○	○						
4	①	滝野地域小中一貫校備品購入事業	○	滝野地域小中一貫校増築校舎等に必要な備品の購入			3,276		261,500	264,776	○	継続			
					—	—	100.0%	—	0.0%	1.2%					
							○	○	○						
5	①	通学施策確立事業	○	滝野地域小中一貫校における安全な通学路・通学手段の設定、地域見守り活動の実施						0	○	継続			
				東条・社地域小中一貫校における安全な通学路・通学手段の設定	—	—	—	—	—	0					
					○	○	○	○	○						
6	①	児童・生徒交流事業	○	小学校内の異学年交流、小学校間の児童交流及び小中学校間の児童・生徒交流の実施						0	○	継続			
					—	—	—	—	—	0					
					○	○	○	○	○						
7	②	小中一貫教育カリキュラム作成・活用事業	○	小中一貫校の教科カリキュラムの活用、小中学校教員対象の合同研修会の実施						0	○	継続			
					—	—	—	—	—	0					
					○	○	○	○	○						
8	②	ふるさと学習推進事業	○	ふるさと学習「かとう学」の副読本増刷及び実施、子どもたちの地域活動への参加促進	2,175	2,199	8,692	7,264	1,650	21,980	○	継続			
				ふるさと学習「かとう学」の副読本増刷及び実施、副読本改定作業の取材と執筆作業	2,105	1,987	8,592			12,684					
					96.8%	90.4%	98.8%	0.0%	0.0%	57.7%					
					○	○	○	○	○						
9										0					
					—	—	—	—	—	0					
10										0					
					—	—	—	—	—	0					
予算(計画) 事業費 合計					5,680,227	4,220,684	2,597,959	3,801,061	3,468,002	19,767,933					
決算 事業費 合計					4,544,647	3,331,295	1,250,313	0	0	9,126,255					
執行率					80.0%	78.9%	48.1%	0.0%	0.0%	46.2%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政策	1	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施策	1	学校教育の充実	37
主要施策	2	確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成	ページ

部	こども未来部	課	学校教育課	所管部長	近澤孝則	作成担当	役職	氏名
				所管課長	森本恭央		役職	氏名

将来あるべき姿
「確かな学力」「健やかな体」を育み、ふるさとを愛し、ともに支え合いながら未来を切り拓く子どもたちが育っています。

協働の取組(市の取組) 計画内容
① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組の推進【総合戦略】
指導の個別化・学習の個性化による個別最適な学びや、多様な他者との協働によるよりよい学びを生み出す協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むとともに、教科横断的な学びを進展させ、総合的な学習の時間には、SDGs(持続可能な開発目標)についても理解を深めていきます。また、家庭や地域と連携して補完的な学習や発展的な学習を行える環境を整備し、授業以外での学習習慣の定着や学習環境の整備に取り組めます。
② キャリア教育の充実【総合戦略】
個性を伸ばし、より深い興味関心を持てるよう、特別活動を要にしつつ各教科の特質に応じて子どものキャリア発達につながる視点を重視し、兵庫教育大学との連携を強化するとともに本物の芸術やプロフェッショナルの高度な技能を授業に取り入れます。また、自分の夢や目標を持ち続けられるよう、キャリアパスポートやキャリアノートを積極的に活用します。
③ 英語教育の充実【総合戦略】
臆することなく英語でコミュニケーションできる能力を育成するため、目的や場面、状況を意識した言語活動重視の授業を行うとともに、ALT・地域の外国人住民とのふれあいや対話の機会、身に付けた英語力を試す場を積極的に設けます。
④ 望ましい運動習慣・食習慣の定着【総合戦略】
運動習慣の定着や体力の向上のため、体力テストの分析結果の活用や系統的な学習指導により教科体育を充実させます。また、望ましい食習慣の定着や豊かな心と人間性の育成に向け、食事と健康のつながりや和食文化を学ぶなど、栄養教諭などによる食育指導を充実させます。
⑤ ICTを活用した教育活動の充実【総合戦略】
一人1台パソコンを活用して、児童・生徒が自ら学習を振り返ったり、教師が一人ひとりに応じた指導を実践したりするため、スタディ・ログなどの蓄積・利活用に取り組めます。また、情報活用能力の向上を図るため、プログラミング教育や児童・生徒の主体的な学びを促進する学習活動を計画的に実施します。加えて、情報モラル教育を推進することで、情報を正しく判断し、よりよく活用するとともに、責任をもって情報発信しようとする態度や能力を育成します。

R5～R7における成果
学力向上プロジェクト委員会では、「学力調査」の結果を各校が持ち寄り、課題や改善方法を検証し、各校での取り組みを情報交換することで、市全体で改善策を共有する体制が確立できた。児童生徒の一人一台端末を活用し、ドリル学習アプリと学力調査の結果を連動させることで、自らの苦手分野や得意分野を把握でき、自らに合った課題に取り組むことで、意欲を持って取り組めた。学習習慣の定着を図るため実施している放課後学習では、学校から指示された学習をするのではなく、自らが選んだ教材等で自らが選んだ教材等で学習する姿勢が多く見られた。
「かどう夢事業」では、専門の外部講師を招聘し、プロフェッショナルの高度な技能を授業等に取り入れ、児童生徒の夢に向かう力を育む機会を拡充した。小学校では図画工作と理科の分野で専門的な技能や知識に触れることで興味関心を高め、中学校ではボススポーツ選手等から直接指導や講話を受けることで技術の向上を実感することができた。トライやる・ウィークでは、「働くことの大切さ、厳しさ、楽しさ」を感じた児童生徒の割合が、91.7%と2年連続で向上した。
中学生を対象とした「わくわく英語科」では、ALTや友達とのコミュニケーションに重点を置いたアクティビティを実施したことで、学習した英語を活用し、積極的に英語でのコミュニケーションに取り組めた。新規事業として、小学5・6年生を対象とした「わくわく英語科ジュニア」を実施し、17名の児童が、ALTや友達とコミュニケーションを楽しむことができた。また、ジョリフォニックス研修会には小学校教員だけでなく、中学校教員やALTも参加し、小中連携の観点からも、充実した研修を実施することができた。
体力テストの分析結果をもとに「加東市子どもの体力向上推進委員会」で「柔軟性」や「筋力」の課題を確認し、改善策をまとめたリーフレットを教職員に配布した。市全体で運動課題を共有し改善策を周知したことで、自校の実情に応じた取り組みを充実させることができた。PEマスター派遣事業では、個別指導により意欲的に能力向上を図る児童の姿が見られた。「かどう夢授業」でプロの指導者を招いて運動意欲と能力の向上を図った。
教員のICT指導力向上を図るため、学習アプリの効果的な活用に向けて、授業公開による授業実践研修の実施や、研究指定校における効果的な活用方法の実践内容を市内教員へ周知し、広げた。生成AIへの知識・理解を深め、校務や授業での活用を推進するために、加東市立学校におけるガイドラインを作成し、児童生徒へ適切に指導できるように、情報モラルの向上に取り組む、発達段階に合わせた情報モラルの指導を行った。

次期計画に向けた課題・取組方針
引き続き、成果が見られた取組事例を共有して、学力向上に向けた授業改善を進める。また、全国学力・学習状況調査及び加東市総合学力調査の結果分析を踏まえた授業改善を継続し、各教科の授業が好きになり楽しみながら学習できる授業づくりについて、研究を継続する。児童生徒が主体的に取り組む姿勢を促進するため、個々の習熟度に応じた発展的・補完的学習機会の拡充を検討する。
「かどう夢事業」については、引き続き専門の外部講師を招聘し、プロフェッショナルの高度な技能を授業等に取り入れ、児童生徒の夢に向かう力を醸成する。トライやる・ウィークでは、生徒の希望に沿った事業所で体験活動ができるよう、新規事業所の開拓に努めるとともに、事業所を介した活動により自分らしい生き方を考える機会となるよう、事前事後指導を計画的に実施する。
英語でのコミュニケーションを楽しいと思える授業や活動を充実させるとともに、小学校段階におけるジョリフォニックスの指導を一層拡充し、中学校の英語教育にスムーズに移行できるよう、小中連携して取り組んでいく。中学校においては、英語力向上のために、学習者用デジタル教科書や市独自のレッスンブック等を効果的に活用し、英語ライセンス制度の取り組みを充実させる。
引き続き、体力テストの分析結果をもとに、市全体で運動課題を共有し、課題克服に向けた効果的な取り組みを充実させることで、運動意欲や体力の向上につなげる。引き続き、心身の健全な発達や食に関する正しい知識について周知し、児童生徒が豊かな人間性を育み、生きる力を身につけられるよう取り組みを進める。
日々進化する学習アプリやAIを効果的に活用するために、引き続き、ICT支援員の派遣や各種研修会を実施する。また、児童生徒の情報活用能力や情報モラルの向上。児童生徒が主体となったスマートフォンやSNS等の利用について、各学校の実態や発達段階に応じて計画的に指導を行う。

総合評価				
一次 (内部)	R5～R7成果		A	
	目標達成状況		B	
	R5 B	R6 A	B	
二次 (外部)	R5 B	R6		
【一次(内部)評価理由】				
【二次(外部)評価意見等】				
【評価基準】				
[R5～R7成果]				
S: 取組により十分な成果があった				
A: 取組により概ね目標とする成果があった				
B: 取組により一部成果があった				
C: 取組(時期・内容)に改善が必要				
[目標達成状況]				
S: 全ての指標を達成した				
A: 全ての指標の達成率が80%以上				
B: 過半数の指標の達成率が60%以上				
C: 半数以上の指標の達成率が60%未満				
[総合評価]				
S: 十分な成果があった				
A: 概ね目標とする成果があった				
B: 一部成果があった				
C: 成果が不十分で改善が必要				

まちづくり指標						年度目標達成状況																			
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値					下段:実績値					上段:達成率					下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)					
①学校の授業がわかる児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、学校の授業がわかると回答した児童・生徒の割合	%	↗	↑	93.1	94.0 90.1	95.0 88.4	96.0 89.7	97.0	98.0	95.9% ★★	93.1% ★★	93.4% ★★												
②将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、将来の夢や目標を持っていると回答した児童・生徒の割合	%	↘	↑	52.1	54.0 42.3	56.0 47.9	58.0 42.1	60.0	62.0	78.3% ★	85.5% ★★	72.6% ★												
③英検3級相当以上の英語力を有する生徒の割合	生徒の英語の学習状況(文部科学省『英語教育実施状況調査』)	%	↗	↑	48.3	52.0 47.2	54.0 45.9	56.0 51.5	58.0	60.0	90.8% ★★	85.0% ★★	92.0% ★★												
④朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、毎日朝食を食べていると回答した児童・生徒の割合	%	↘	↑	79.7	81.0 78.7	82.0 84.8	83.0 83.1	84.0	85.0	97.2% ★★	103.4% ★★★★	100.1% ★★★★												
⑤情報収集・資料作成ができる児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、ICT機器を活用した情報の収集、発表資料の作成ができる児童・生徒の割合	%	↗	↑	28.0	32.0 25.6	34.0 30.5	36.0 25.8	38.0	40.0	80.0% ★★	89.7% ★★	71.7% ★												

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、一:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算〔千円〕、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	学力向上推進事業	○	学力向上プロジェクト委員会を中心とした指導方法の工夫改善、少人数指導や補充学習の実施、全国学力学習状況調査及び市学力調査(小3～中2)の活用、学力向上推進校での研究	2,208	2,290	2,764	2,794	2,794	12,850	○	継続			
					1,971	2,091	2,611			6,673					
					89.3%	91.3%	94.5%	0.0%	0.0%	51.9%					
					○	○	○	○	○						
2	①	学習支援員配置事業	○	児童生徒へのきめ細かな指導を行うため、学習支援員として、地域人材(教員免許保有者や教員を目指す学生)の各校への配置	8,387	8,510	6,047	6,313	6,313	35,570	○	継続			
					7,874	6,462	5,739			20,075					
					93.9%	75.9%	94.9%	0.0%	0.0%	56.4%					
					○	○	○	○	○						
3	①	児童生徒の考える力を高める授業実践事業	○	小中学校の校内研修会(授業づくり)の充実に向けた講師の招聘	350	300	125	125	125	1,025	○	継続			
					140	192	103			435					
					40.0%	64.0%	82.4%	0.0%	0.0%	42.4%					
					○	○	○	○	○						
4	①	加東スタディライフ実施事業	○	長期休業中に自主的な学習をサポートする場所や支援者を提供するための、指導員として地域人材(教員免許保有者や教員を目指す学生)の配置	628	628				1,256	○	完了・完了予定	令和7年度以降、学習支援員配置事業の学習支援員の活動の一つとして、長期休業中の自主学習室の運営を行う		
					608	521				1,129					
				長期休業中に児童生徒の自主的な学習をサポートする場所と支援者を提供	96.8%	83.0%	—	—	—	89.9%					
					○	○	○	○							
5	①	放課後補充学習推進事業	○	放課後学習の実施及び放課後学習支援員の配置	830	830	447	241	241	2,589	○	継続			
					702	702	588			1,992					
					84.6%	84.6%	131.5%	0.0%	0.0%	76.9%					
					○	○	○	○	○						
6	①	多文化共生推進事業	○	多文化共生サポーターや多言語相談員、こども日本語支援員の派遣による日本語指導が必要な外国人児童生徒への生活・学習支援	3,425	3,422	4,613	9,393	9,393	30,246	○	継続			
					2,256	2,632	6,405			11,293					
					65.9%	76.9%	138.8%	0.0%	0.0%	37.3%					
					○	○	○	○	○						
7	①	教育課題チャレンジ事業	○	教職員の自主的な取組による課題意識や実践的指導力の向上推進	400	400	300	300	300	1,700	○	継続			
					260	400	240			900					
					65.0%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	52.9%					
					○	○	○	○	○						
8	①	学習検定チャレンジ事業	○	小学3年～中学3年を対象に「漢検」と「算検・数検」に挑戦する機会の提供、中学1～3年を対象に「英検」に挑戦する機会の提供		1,556	5,448	4,897	4,897	16,798	○	継続			
						1,249	3,661			4,910					
					—	80.3%	67.2%	0.0%	0.0%	29.2%					
						○	○	○	○						
9	②	プロから学ぶ「かとう夢授業」	○	小学校の理科や図工の授業、中学校の部活動へのスペシャリスト等の招聘	2,300	4,468	2,470	1,623	1,623	12,484	○	継続			
					5,064	4,911	3,244			13,219					
					220.2%	109.9%	131.3%	0.0%	0.0%	105.9%					
					○	○	○	○	○						
10	② ④	部活動指導員配置・外部指導者派遣事業	○	中学校部活動への専門的な指導力を有する指導者の派遣、大会引率等ができる部活動指導員の配置、部活動地域展開に向けた準備	15,809	16,148	20,553	15,729	15,729	83,968	○	継続			
					5,361	6,897	10,398			22,656					
					33.9%	42.7%	50.6%	0.0%	0.0%	27.0%					
					○	○	○	○	○						
11	③	語学(英語)指導員派遣事業	○	ALTの配置、かとう英語ライセンス制度や「加東わくわく英語村」の実施、オリンピック市との国際交流	39,044	40,953	21,764	20,992	20,992	143,745	○	継続			
					38,846	38,656	20,915			98,417					
					99.5%	94.4%	96.1%	0.0%	0.0%	68.5%					
					○	○	○	○	○						

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

12	③	小学校外国語教育推進事業	○	教員の英語力・英語指導力向上のための研修の実施、ジョリーフォニックスの導入	1,213	1,259	100	100	100	2,772	○	継続			
					1,078	1,232	100			2,410					
				GTEC Juniorの実施	88.9%	97.9%	100.0%	0.0%	0.0%	86.9%					
13	④	子どもの体力向上推進事業	○	「加東市子どもの体力向上推進委員会」の設置、体力テストや生活実態調査のデータ分析等による中長期的な体力向上推進及び体力向上サポーターとしての県立社高校生の派遣	914	953	844	934	934	4,579	○	継続			
					879	908	804			2,591					
					96.2%	95.3%	95.3%	0.0%	0.0%	56.6%					
14	⑤	ICT教育推進事業	○	小中学校へのICT支援員の派遣、教員研修の実施、ICT活用研究推進校の指定及び1人1台パソコン活用のための教材の整備	22,457	23,013	18,058	18,688	24,450	106,666	○	継続			
					22,302	23,030	17,942			63,274					
					99.3%	100.1%	99.4%	0.0%	0.0%	59.3%					
予算(計画) 事業費 合計					97,965	104,730	83,533	82,129	87,891	456,248					
決算 事業費 合計					87,341	89,883	72,750	0	0	249,974					
執行率					89.2%	85.8%	87.1%	0.0%	0.0%	54.8%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政策	I	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施策	1	学校教育の充実	39
主要施策	3	心の教育の推進	ページ

部	こども未来部	課	学校教育課	所管部長	近澤孝則	作成 役職		氏名	
				所管課長	森本恭央	役職		氏名	

将来あるべき姿
子どもたちが多様な価値を認め合い、豊かな情操や道徳心、差別や偏見を許さない態度や行動、人や社会とかかわる力を身に付け、多様な人と豊かに共生しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		R5～R7における成果		次期計画に向けた課題・取組方針		総合評価	
① 多様性を認め合う児童・生徒の育成【総合戦略】	子どもたちが多様な価値観を認め合い、差別や偏見を許さない態度や行動を身に付けられるよう、学級、児童会、生徒会などによるいじめや偏見を許さない取組を推進するとともに、不登校の未然防止や登校促進に向けた家庭への支援に取り組みます。また、発達段階に応じた系統的な学習を通じて、自他の人権を守り、人権課題に取り組む行動力を育成します。	⇒	人権教育講演会を5会場で開催し、小5から中3までが生命尊重や他者理解、正義感など豊かな人間性を学んだ。95%の児童生徒が意識向上を回答し、課題解決への行動力育成に寄与した。教職員向けには、フィールドワークや人権センターによる研修を行い、多文化共生や同和問題への理解も深まった。	⇒	引き続き、人権教育の推進を図るとともに、人権・同和教育部会や人権スキルアップ講座で教職員の研修を重ねて、職員全員の人権意識の高揚を図る。	一次 (内部)	R5～R7成果 A
	② 体験活動の充実【総合戦略】	⇒	自然と触れ合う体験として、小3では環境体験学習、小5では4泊5日の自然学校を実施した。また、中1では「わくわくオーケストラ教室」で芸術に触れ、中2では「トライやる・ウィーク」の5日間で、事業所等の社会体験活動を行った。体験活動を通じ、本物に触れる感性や生命への畏敬、共に生きる心、判断力を培った。また「トライやる・ウィーク」では、働くことの意義を実感し、進路への思索を深めた。	⇒	体験活動では、主体的判断力と課題解決力を育むプログラムを検討する。また、発達段階を見通したキャリア教育の指導計画を作成する。トライやる・ウィークでは、生徒への事前事後指導を計画的に実施し、より充実した事業所活動により、自分らしい生き方を考えられるようにする。		目標達成状況 B
	③ 家庭や地域と連携した道徳教育の推進	⇒	全市立学校で道徳科の授業を家庭や地域に公開し、道徳科を通して子どもたちに培う道徳的価値観を共有した。また、授業後に保護者アンケートを実施し、子どもたちに育むべき道徳的価値観を把握し、目指す「子どもの姿」の認識の共有を図った。	⇒	学校・家庭・地域が連携し一体となって子どもを育てるため、学校における道徳科の授業を広く公開し、その様子を積極的に発信する。また、児童生徒が道徳的価値について自ら考え、内面的な気付きと実際の行為を往還させながら、よりよい生き方を主体的に追求する態度を育てることを目指し、大学と連携しながら、教職員の授業実践力の向上を図る。		R5 R6 A A B
		⇒		⇒		二次 (外部)	R5 R6 A A
		⇒		⇒		【一次(内部)評価理由】	
		⇒		⇒		【二次(外部)評価意見等】	
		⇒		⇒		【評価基準】	
		⇒		⇒		【目標達成状況】	
		⇒		⇒		【総合評価】	

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値					上段:達成率				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①困っている人を助ける児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、人が困っているときは、進んで助けると回答した児童・生徒の割合	%	↗	↑	55.6	57.0	59.0	61.0	63.0	65.0	94.2%	88.3%	74.9%		
②人とふれあうことを楽しいと感じる生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、トライやる・ウィーク期間中に人とふれあうことを楽しいと感じた生徒の割合	%	↘	↑	51.4	57.0	60.0	63.0	65.0	67.0	100.5%	93.0%	106.7%		
③道徳科の授業で自分の考えが深まったと思う児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、道徳科の授業で自らの考えが深まり、グループなどでの活動に取り組む児童・生徒の割合	%	↘	↑	45.0	47.0	49.0	51.0	53.0	55.0	91.7%	91.0%	86.5%		
						53.7	52.1	45.7			★★	★★	★		
						57.3	55.8	67.2			★★★	★★	★★★		
						43.1	44.6	44.1			★★	★★	★★		

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

R5～R7成果		A
目標達成状況		B
R5 R6 A A		B
R5 R6 A A		
【一次(内部)評価理由】		
【二次(外部)評価意見等】		
【評価基準】		
【目標達成状況】		
【総合評価】		

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段:2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算〔千円〕、中下段:執行率、下段:実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	小中学校人権教育講演 会事業	○	児童生徒を対象とする人権教育講演会の開催	1,618	1,790	987	983	983	6,361	○	継続			
					1,311	1,111	782			3,204					
					81.0%	62.1%	79.2%	0.0%	0.0%	50.4%					
					○	○	○	○	○						
2	①	人権教育スキルアップ事 業	○	人権教育に関する新たな知識を習得するための教職員を対象とした人権教育研修 の実施	182	227	70	70	70	619	○	継続			
					163	172	55			390					
					89.6%	75.8%	78.6%	0.0%	0.0%	63.0%					
					○	○	○	○	○						
3	①	児童生徒理解促進事業	○	児童生徒の心理面の把握のためのhyper-QUテストの実施及びその活用	1,778	1,772	862	862	862	6,136	○	継続			
					1,655	1,547	806			4,008					
				年2回のhyper-QUテスト実施	93.1%	87.3%	93.5%	0.0%	0.0%	65.3%					
					○	○	○	○	○						
4	①	不登校対策事業	○	不登校児童生徒の学校復帰を目指した適応教室での支援や教育相談の実施、研究 推進指定校での支援の研究・実践、全小学校5年生を対象とした勇者の旅プログラ ムの実施	1,929	1,433	1,439	2,902	2,902	10,605	○	継続			
					1,658	1,208	2,025			4,891					
					86.0%	84.3%	140.7%	0.0%	0.0%	46.1%					
					○	○	○	○	○						
5	②	小学校体験活動事業	○	小学生を対象とした体験活動の実施(環境体験事業、自然学校推進事業)	7,887	8,791	7,672	8,468	8,468	41,286	○	継続			
					7,187	7,478	6,434			21,099					
					91.1%	85.1%	83.9%	0.0%	0.0%	51.1%					
					○	○	○	○	○						
6	②	トライやる・ウィーク推進 事業	○	中学生を対象としたトライやる・ウィークの実施	2,805	2,700	2,400	2,400	2,400	12,705	○	継続			
					2,035	2,318	1,849			6,202					
					72.5%	85.9%	77.0%	0.0%	0.0%	48.8%					
					○	○	○	○	○						
7	③	道徳教育推進事業	○	道徳授業の公開による家庭・地域と連携した道徳教育の推進、「特別の教科 道徳」 (道徳科)の実施						0	○	継続			
										0					
					—	—	—	—	—	—					
					○	○	○	○	○						
8										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
9										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
10										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
予算(計画) 事業費 合計					16,199	16,713	13,430	15,685	15,685	77,712					
決算 事業費 合計					14,009	13,834	11,951	0	0	39,794					
執行率					86.5%	82.8%	89.0%	0.0%	0.0%	51.2%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政策	1	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施策	2	学びや育ちを支える環境づくり	40
主要施策	4	健全な子どもを育てる環境づくり	ページ

部	こども未来部	課	学校教育課	所管部長	近澤孝則	作成 担当	役職	氏名
				所管課長	森本恭央		役職	氏名

将来あるべき姿

保護者や地域の人たちが、学校行事や学びの場、地域の活動に積極的に参加して、地域全体で子どもたちを見守り、育てています。

協働の取組(市の取組) 計画内容	
① 地域ぐるみの学校教育支援[総合戦略]	
地域全体で子どもたちを育むため、学校行事や学びの場、学校ボランティアなど、保護者や地域住民が学校教育を支援する活動に参加する機会を充実させます。	⇒
② 学校・家庭・地域の連携[総合戦略]	
家庭や地域と学校が目指す子どもの姿を共有し、共に子どもたちの教育に取り組むため、家庭における基本的な生活習慣や学習習慣の確立を図るとともに、学校からの情報発信の充実や、学校運営協議会の設置、地域学校協働本部との連携により、コミュニティスクールとして持続可能な協働体制を構築します。	⇒
③ 働きがいのある学校づくり[総合戦略]	
教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、地域人材を活用してスクール・サポート・スタッフ、部活動指導員などを配置し、心身ともに健康で、専門性を高め、指導力を高められる協働体制を構築します。また、教職員のワーク・ライフ・バランスを推進するため、ノー残業デー、ノー会議デー、ノー部活動デーの完全実施、出張回数の削減、校務支援システム活用など、積極的な業務改善に取り組みます。	⇒
④ 地域における子どもの安全確保[総合戦略]	
子どもたちの安全な登下校支援や健全育成に関わる地域の活動など、加東こども家庭センターや加東警察署などの関係機関と連携して子どもの安全・安心の確保に向けた地域における取組の充実を促進します。	⇒
	⇒
	⇒

R5～R7における成果	
学校と家庭の情報共有アプリを導入したことで、学校と家庭の連絡だけでなく、地域との情報共有も円滑に行うことができた。情報モラル研修会を各学校で実施し、保護者も参加できる機会を設けたり、警察と連携して交通安全や違法薬物の注意喚起を行うなど、家庭や地域の教育力を高める取り組みができた。毎月のネット見守りの報告では、大きなトラブルにつながる報告はない。	⇒
東条学園小中学校において、年間5回の学校運営協議会を開催し、地域住民・保護者・教員が共に目指す子ども像を共有し、地域とともにある学校づくりに努めた。社地域において、開校準備委員会で学校運営協議会に係る研修や視察を実施し、理解を図るとともに、コミュニティスクールとして開校後の運営についての具体を示すことができた。学校だより、ホームページ及びKVCVによって、学校の様子や取組を伝えるように努めた。ふるさと学習「かとう学」副読本を活用した授業実践を推進することで、ふるさと意識の醸成が図られた。	⇒
働き方改革(業務改善)推進委員会を2回実施した。全学校で定時退勤日、ノー会議デーを設定し、定時退勤の励行、計画的な業務執行等を管理職より呼び掛けた。また、スクール・サポート・スタッフは全学校11名配置し、教員の業務を助け、協働的に働ける体制ができていく。部活動指導員は18名配置できた。さらに、学校保護者連絡ツールteforuや自動採点システムの導入により、業務改善が進んだ。	⇒
地域での安心・安全な見守りと健全育成を推進するため、各小・中・義務教育学校へ最新の防犯・交通安全情報やネット利用状況を共有し、地域連携による見守り体制を強化した。不審者情報等に対しては、通報確認後ただちに防犯メール等で注意喚起を行い、青色防犯パトロールを重点的に実施した。学校・警察・教育委員会による学校・警察連絡会を継続開催したことで連携の枠組みが強固になり、緊急時の個別対応がより迅速化された。	⇒
	⇒

次期計画に向けた課題・取組方針	
複雑な社会情勢が続くため、子どもや保護者の悩みも多様化することが予想される。教育支援センターや校内教育支援センター、フリースクール等の情報を集め、相談時に提供できるよう準備する。また、子どもを中心に考えて、保護者の思いに寄り添った相談体制を整える必要がある。オンラインを活用した手軽に学べたり、啓発できたりする機会を設定する。	⇒
地域学校協働活動のすそ野を広げるとともに、さらなる充実に向け、活動の周知を図る。また、社地域については、学校運営協議会の運営を通して、地域とともにある学校づくりを推進する。	⇒
継続した取り組みにより教職員自身が、強い課題意識を持つことで、超過勤務時間の減少に努めるとともに、地域との連携をさらに進めることで、チーム学校の体制の構築を推進していく。	⇒
最新の情報を発信し、緊急対応時に役立つ知識の更なる周知を図る。登下校の安全については、関係機関との連携を強化し、地域と協働した見守り活動を継続して行う。	⇒
	⇒

総合評価		
一次 (内部)	R5～R7成果	B
	目標達成状況	B
	R5 R6 B B	B
二次 (外部)	R5 R6 B B	
【一次(内部)評価理由】		
【二次(外部)評価意見等】		
【評価基準】		
[R5～R7成果] S: 取組により十分な成果があった A: 取組により概ね目標とする成果があった B: 取組により一部成果があった C: 取組(時期・内容)に改善が必要		
【目標達成状況】 S: 全ての指標を達成した A: 全ての指標の達成率が80%以上 B: 過半数の指標の達成率が60%以上 C: 半数以上の指標の達成率が60%未満		
【総合評価】 S: 十分な成果があった A: 概ね目標とする成果があった B: 一部成果があった C: 成果が不十分で改善が必要		

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段: 目標値 下段: 実績値					上段: 達成率 下段: 年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
① 子どもの教育活動に協力する市民の割合	市民アンケートにおいて、オープンスクールなどの学校行事や学校でのボランティア活動に参加する市民の割合	%	→	↑	45.7 (R4)	— —	— —	49.0 42.6	— —	51.0	— —	— —	86.9% ★★		
② 学校オープンに参加する保護者の割合	年度当初の学校オープンに参加した保護者の割合	%	—	↑	—	80.0 61.0	82.0 85.6	84.0 87.8	86.0	88.0	76.3% ★	104.4% ★★★	104.5% ★★★		
③ 1か月の超過勤務時間が80時間超の教職員数	教職員の超過勤務の状況	人	↘	↓	9	7 8	5 10	3 12	1	0	87.5% ★★	50.0% ☆	25.0% ☆		
④ 子ども(青少年)の安全対策や健全育成に協力する市民の割合	市民アンケートにおいて、青少年の補導活動や地域子ども見守り隊などの活動に参加する市民の割合	%	→	↑	30.9 (R4)	— —	— —	34.0 29.9	—	36.0	— —	— —	87.9% ★★		

【年度目標達成状況】★★★: 達成、★★: 達成率80%以上、★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	保護者等学びの場提供事業	○	青少年健全育成懇談会や情報モラル学習会などの保護者等の学びの場の提供	225	225	150	150	150	900	○	継続			
					150	180				330					
					66.7%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.7%					
					○	○	○	○	○						
2	①	「いきいき学校」応援事業	○	学校支援ボランティアとして登録された地域住民と連携した地域ぐるみでの体験活動の実施	550	550	350	300	300	2,050	○	継続			
					490	527				1,017					
					89.1%	95.8%	0.0%	0.0%	0.0%	49.6%					
					○	○	○	○	○						
3	②	スクールソーシャルワーカー配置事業	○	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、福祉部局等と連携した学校内におけるチーム体制の構築による保護者支援の実施	5,069	6,554	6,838	6,838	6,838	32,137	○	継続			
					4,775	6,061	5,370			16,206					
					94.2%	92.5%	78.5%	0.0%	0.0%	50.4%					
					○	○	○	○	○						
4	②	学校運営協議会制度	○	「地域とともにある学校づくり」を目指し、教育ビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けて協働していくための学校運営協議会の設置・運営	206	226	450	624	624	2,130	○	継続			
					148	138				286					
					71.8%	61.1%	0.0%	0.0%	0.0%	13.4%					
					○	○	○	○	○						
5	②	地域学校協働活動推進員の配置	○	学校と地域の連携・協働体制を整備するため、学校と地域をつなぐコーディネーター役として地域学校協働活動推進員を配置	756	756	756	1,512	1,512	5,292	○	継続			
					750	387				1,137					
					99.2%	51.2%	0.0%	0.0%	0.0%	21.5%					
					○	○	○	○							
6	③	地域クラブ活動推進事業		地域クラブ団体の設立及び運営の支援、指導者研修の開催、学校と地域クラブの連絡調整				24,441	24,441	48,882	○	継続			
					—	—	—	0.0%	0.0%	0					
					○	○	○	○	○						
7	③	スクールサポートスタッフ配置事業	○	教員が本来の業務に集中し、児童生徒と向き合う時間を確保するため、教員の事務的業務を担うスクールサポートスタッフを配置	14,418	19,281	16,271	13,578	13,578	77,126	○	継続			
					12,047	18,482	11,287			41,816					
				新たに加わった感染予防対策のための業務を担うスクールサポートスタッフを配置	83.6%	95.9%	69.4%	0.0%	0.0%	54.2%					
					○	○	○	○	○						
8	④	青少年センター運営事業	○	補導委員や地域子ども見守り隊、ネット見守り隊、PTAなどによる安全確保・監視・補導・相談活動の実施、補導委員の研修や広報活動の実施	2,145	2,331	2,372	2,114	2,114	11,076	○	継続			
					2,014	2,151	2,233			6,398					
					93.9%	92.3%	94.1%	0.0%	0.0%	57.8%					
					○	○	○	○	○						
9										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
10										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
予算(計画) 事業費 合計					23,369	29,923	27,187	49,557	49,557	179,593					
決算 事業費 合計					20,374	27,926	18,890	0	0	67,190					
執行率					87.2%	93.3%	69.5%	0.0%	0.0%	37.4%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	1	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施 策	2	学びや育ちを支える環境づくり	41
主要施策	5	インクルーシブ教育充実のための支援	ページ

部	こども未来部	課	発達サポートセンター	所管部長	近澤孝則	作成 役職	課長	氏名	鷹尾 有紀
				所管課長	鷹尾 有紀	役職		氏名	

将来あるべき姿
支援が必要な子どもに対して、幼児期から就労までの生涯を見通した切れ目のない支援を行うことで、自立した生活を送ることができています。

協働の取組(市の取組) 計画内容			R5～R7における成果			次期計画に向けた課題・取組方針			総合評価			
① 相談・連携体制の強化【総合戦略】	支援が必要な子どもが適切な支援を切れ目なく受けることができるよう、サポートファイルの作成を促し、相談・連携体制を強化します。また、多職種が連携し、保護者や学校・園の職員に対して、合理的配慮などの支援方法を伝えます。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	サポートファイルの作成は定着してきているが、活用面においては関係機関との情報共有や効果的な活用の促進が必要であるため、引き続き、関係機関との連携を強化するとともに、園や学校、保護者に対して活用に向けた周知・研修を行い、支援の充実に取り組む。	⇒	一次 (内部)	R5～R7成果	A	
										目標達成状況	S	
										R5 A	R6 B	A
										R5 A	R6 B	
										二次 (外部)	R5 A	R6 B
② 一人ひとりの特性に合った療育等の提供【総合戦略】	支援が必要な子どもに対して一人ひとりの特性に合った個別・集団療育を実施するとともに、支援が必要な子どもの保護者に対してペアレントトレーニングを実施し、親子の良好な関係づくりを支援します。また、発達障害などへの理解を深めるため、市民対象の研修を充実させます。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	子ども一人ひとりの特性に合った支援を充実させるため、小集団療育の見直しを踏まえた個別療育の見直しを行い、療育事業の実施体制を確立する必要がある。また、療育事業や研修事業を通じて、保護者支援の充実や障害理解の強化に取り組む。	⇒	二次 (外部)	【二次(外部)評価意見等】		
										【評価基準】		
										【R5～R7成果】		
										S: 取組により十分な成果があった		
										A: 取組により概ね目標とする成果があった		
										B: 取組により一部成果があった		
										C: 取組(時期・内容)に改善があった		

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値					下段:実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①関係機関と連携をとることができた相談の割合	全体の相談件数のうち、関係機関と連携することができた相談件数の割合	%	—	↑	85.1 (R4)	85.1	85.1	85.5	85.5	86.0	112.8%	111.6%	112.0%		
②個別・集団療育の参加者数	発達サポートセンターで行っている個別・集団療育の参加者数	人	↘	→	25	25	25	25	25	25	96.0%	72.0%	116.0%		

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

一次 (内部)	R5～R7成果	A
	目標達成状況	S
	R5 R6 A B	A
	二次 (外部)	R5 R6 A B
	【一次(内部)評価理由】	
二次 (外部)	【二次(外部)評価意見等】	
	【評価基準】	
	【目標達成状況】	
	【総合評価】	

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	相談事業	○	臨床心理士・保健師・教育相談支援員による相談、医師による発達相談、臨床心理士による発達検査等の実施	3,388	3,602	3,673	3,892	3,892	18,447	○	継続		相談等の予約の電子申請導入により、いつでも予約枠の確認・予約が可能になり、利便性が向上した。また電話対応が減少し、事務の効率化につながった。	
				3,118	3,375	3,532			10,025						
				92.0%	93.7%	96.2%	0.0%	0.0%	54.3%						
					○	○	○	○	○						
2	①	巡回相談事業	○	学校・園への巡回による合理的配慮等についての助言、サポートファイル作成の推進	568	793	391	520	520	2,792	○	継続			
				390	422	324			1,136						
				68.7%	53.2%	82.9%	0.0%	0.0%	40.7%						
					○	○	○	○	○						
3	①	発達サポートセンター運営事業	○	発達サポートセンターの運営、施設維持管理	41,186	3,648	2,990	3,233	3,233	54,290	○	継続			
				37,919	2,626	2,730			43,275						
				92.1%	72.0%	91.3%	0.0%	0.0%	79.7%						
					○	○	○	○	○						
4	②	療育事業	○	支援が必要な子どもの早期発見及び特性を理解した早期支援、集団生活等に必要な能力を身に付けるための集団・個別療育の実施、保護者が子どもとの関わり方を学ぶペアレントトレーニングの実施	489	738	345	626	649	2,847	○	継続		小集団療育の見直しを行い、参加者の増加につなげた。	
				442	230	333			1,005						
				90.4%	31.2%	96.5%	0.0%	0.0%	35.3%						
					○	○	○	○	○						
5	②	研修・啓発事業	○	市民や教育・福祉従事者を対象とした発達障害等への理解促進のための研修の実施	482	490	399	617	617	2,605	○	継続			
				319	379	398			1,096						
				66.2%	77.3%	99.7%	0.0%	0.0%	42.1%						
					○	○	○	○	○						
6										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
7										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
8										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
9										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
10										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
予算(計画) 事業費 合計					46,113	9,271	7,798	8,888	8,911	80,981					
決算 事業費 合計					42,188	7,032	7,317	0	0	56,537					
執行率					91.5%	75.8%	93.8%	0.0%	0.0%	69.8%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	1	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施 策	2	学びや育ちを支える環境づくり	42
主要施策	6	幼児教育と保育サービス等の充実	ページ

部	こども未来部	課	こども教育課	所管部長	近澤孝則	作成 担当	役職	課長	氏名	出井 美穂
				所管課長	長谷川貴子		役職	副課長	氏名	久米 陽介
							役職	係長	氏名	神戸 幸子

将来あるべき姿

幼児教育・保育を充実させるとともに、子どもや子育て家庭のニーズに応じた多様な保育サービスなどを提供することで、地域で安心して子育てができ、人間性豊かな子どもたちがすくすく育っています。

協働の取組(市の取組) 計画内容	
① 幼児教育・保育の充実【総合戦略】	子育て家庭の多様なニーズに応じた質の高い幼児教育・保育を提供するため、保育士、幼稚園教諭などの資質や専門性の向上に取り組むとともに、幼児期からの人権教育を推進します。また、私立保育所・認定こども園などの施設整備や保育士の就労支援などにより保育の受け皿を確保し、保育所・認定こども園の待機児童・保留児童を解消します。
② 多様な保育サービスの提供と情報提供の充実【総合戦略】	放課後児童健全育成事業や子育て援助活動支援事業、病児・病後児保育などの提供に取り組むとともに、家庭の事情で突発的に子育て支援を受けたい方のために、新たな一時預かりサービスを検討します。保護者が安心して子育てを行うことができるよう、子育てサークル活動の活性化を支援するとともに、児童館や兵庫教育大学子育て支援ルーム「かとうGENKi」において親子の交流機会の提供や子育てに関する情報提供、相談を行います。

R5～R7における成果	
⇒	・市内私立認定こども園等に就職する保育士等を対象に補助金の交付や、兵庫県保育協会加東支部と連携して就職フェアを開催するなど、保育士等の確保に取り組み、保育の質の向上につなげた。 ・公立園において、令和5年11月から使用済のオムツの処分を開始し、令和6年度から3歳児以上にも主食を提供し、保育サービスの一層の充実を図った。 ・令和7年度から公立園を加東みらいこども園に統合し、効率的な運営を図った。 ・「こども誰でも通園制度」の本格実施を見据え、受け皿の確保など必要な準備を進めた。 ・私立園に対して令和7年度に開始した外国語通訳配置支援事業補助金をはじめ、各種補助を実施し、幼児教育・保育の充実及び施設の健全運営を支援した。
⇒	・放課後児童健全育成事業(アフタースクール)や病児・病後児保育などを実施し、子育て家庭の就労と子育ての両立を支援した。 ・アフタースクールを小中一貫校単位で運営するため、東条地域は令和6年4月からアフタースクールを統合し、社地域は令和7年4月の新設アフタースクールを開所した。また、滝野地域は令和10年4月の開所に向けて、実施設計に取り組んだ。また、長期休業期間中にアフタースクールで昼食の提供を開始した。 ・市内4か所で地域子育て支援拠点事業を実施し、子育て中の親子の交流や育児相談・情報提供等を行うことで、保護者の子育ての不安・負担感の軽減を図り、子育て家庭を支援した。また、スマート申請やInstagramの開始により利用者増にも繋がった。

次期計画に向けた課題・取組方針	
⇒	・保育士等の就労支援など、保育の受け皿の確保対策に継続して取り組むことで、待機児童ゼロの達成を目指す。 ・保留児童の解消に向けて、必要な対策に取り組む。
⇒	・アフタースクールの受入れ体制を整え、待機児童ゼロの達成・継続を目指す。 ・アフタースクールを小中一貫校開校に合わせて運営できるよう、引き続き必要な準備を進める。 ・関係機関との連携を強化し、子育てを協働的に支援するネットワーク構築に努める。 ・令和10年度に現在契約している事業者との契約が満了することから、新たな運営事業者との契約締結のため、仕様書等の検討・調整が必要となる。

総合評価		
一次 (内部)	R5～R7成果	A
	目標達成状況	A
	R5 R6 A A	A
二次 (外部)	R5 R6 A A	
【一次(内部)評価理由】		
【二次(外部)評価意見等】		
【評価基準】		
[R5～R7成果]		
S: 取組により十分な成果があった		
A: 取組により概ね目標とする成果があった		
B: 取組により一部成果があった		
C: 取組(時期・内容)に改善が必要		
【目標達成状況】		
S: 全ての指標を達成した		
A: 全ての指標の達成率が80%以上		
B: 過半数の指標の達成率が60%以上		
C: 半数以上の指標の達成率が60%未満		
【総合評価】		
S: 十分な成果があった		
A: 概ね目標とする成果があった		
B: 一部成果があった		
C: 成果が不十分で改善が必要		

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段: 目標値					下段: 実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①② 幼児教育・保育サービス等の取組に関する満足度	市民アンケートにおいて、幼児教育・保育サービスなどの取組を満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	76.9 (R4)	—	—	78.0	—	79.0	—	—	101.2%		
② 地域子育て支援拠点の来館者数	各児童館とかとうGENKiの来館者数	人	↘	↑	37,589	71,000 62,890	71,800 67,899	72,500 62,752	73,200	73,900	88.6% ★★	94.6% ★★	86.6% ★★		

【年度目標達成状況】★★★★: 達成、★★★: 達成率80%以上、★★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	教育無償化保育料軽減事業	○	幼児教育・保育の無償化による国立大学附属幼稚園の保育料並びに幼稚園・認定こども園の預かり保育及び認可外保育施設等の利用料に対する「子育てのための施設等利用給付」の実施	13,470	12,139	12,848	14,121	15,000	67,578	○	継続			
					9,650	11,006	10,877			31,533					
					71.6%	90.7%	84.7%	0.0%	0.0%	46.7%					
2	①	幼児期人権教育事業	○	3～5歳児を対象とした絶対人権感覚を養う実践プログラムの実施、認定こども園・保育所の職員に対するプログラム実施に係る支援	335	383	139	135	135	1,127	○	継続			
					334	352	128			814					
				子育て講座の実施(令和6年度のみ)	99.7%	91.9%	92.1%	0.0%	0.0%	72.2%					
3	①	公立こども園等運営事業	○	通常保育及び特別保育(延長保育、一時預かり、休日保育及び障害児等保育)の実施並びに管理運営	65,525	75,531	55,448	57,675	60,000	314,179	○	継続			令和8年4月の乳児通園支援事業(こども誰でも通園制度)の開始に向けて、加東みらいこども園の支援室の改修工事を行った。
					60,176	70,697	50,361			181,234					
				公立園における使用済みおもむつの処分に向けた準備(令和5年11月から処分開始)、公立園における3歳児以上の主食提供に向けた準備(令和6年度から提供開始)、公立認定こども園等の集約に向けた準備、職員の効率的配置、令和7年度から公立認定こども園の集約を実施。	91.8%	93.6%	90.8%	0.0%	0.0%	57.7%					
4	①	保育所運営事業	○	私立保育所、認定こども園等への運営補助、特別保育の実施に対する補助、園外活動のためのバス借上げに係る補助、保育士等確保のための一定期間勤務した新規採用者への補助、県モデル事業の活用による子育て支援カウンセラーの配置、外国語通訳等配置に係る補助	1,430,811	1,478,967	1,658,036	1,642,038	1,724,000	7,933,852	○	継続	補助金(園外活動のためのバス借上げに係る補助等)の見直しを実施する。		
					1,445,538	1,561,326	1,601,891			4,608,755					
				私立認定こども園等に対する使用済みおもむつの処分に係る補助金の交付、私立認定こども園等に対する物価高騰対策に係る一時支援金の交付	101.0%	105.6%	96.6%	0.0%	0.0%	58.1%					
5	①	保育料軽減事業	○	保育所等に通う子ども(第1子から)に係る保育料の一部助成	7,680	7,680	7,798	7,680	7,700	38,538	○	継続			
					6,541	7,643	7,282			21,466					
					85.2%	99.5%	93.4%	0.0%	0.0%	55.7%					
6	①	小規模保育整備事業	○	小規模保育事業所の施設整備に対する助成			38,974		19,479	58,453	○	完了・完了予定			
							20,394			20,394					
					—	—	52.3%	—	0.0%	34.9%					
7	①	小規模保育運営事業	○	小規模保育事業所への運営補助				57,987	64,000	121,987	—	継続	令和8年6月から事業を実施する。		
					—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%					
								0	0	0					
8	①	私立保育所施設整備事業	○	私立認定こども園の施設整備に対する助成			90,414		320,325	410,739	○	実施予定	私立保育所の施設整備が必要と判断した際は、事業を実施する。		
					—	—	90,414			90,414					
							100.0%	—	0.0%	22.0%					
9	① ②	児童福祉事業	○	保育士等キャリアアップ研修会及び就職フェア等の実施、子ども・子育て会議の運営、第1期こども計画の推進及び評価・検証	4,889	11,848	1,222	1,142	1,518	20,619	○	継続	令和7年10月児童福祉法改正により、保育所等における職員による虐待に関する通報義務が設けられたことにより、通報等があれば、加東市家庭的保育事業等職員虐待調査審議会を開催し審議する。		
					1,989	7,526	691			10,206					
				第1期加東市こども計画策定、園小接続合同研修準備(令和7年度実施)	40.7%	63.5%	56.5%	0.0%	0.0%	49.5%					
10	① ②	特別保育事業	○	私立保育所及び認定こども園が行う特別保育事業(延長保育、一時預かり)に対する補助	26,983	27,804	42,792	26,201	43,000	166,780	○	継続			
					32,021	34,477	31,108			97,606					
					118.7%	124.0%	72.7%	0.0%	0.0%	58.5%					
11	②	病児・病後児保育事業	○	病児病後児保育施設「かとおこ」における、病児等により家庭や集団での保育が困難である児童の一時的な保育の実施、建物の点検調査	8,996	9,060	9,300	9,222	10,000	46,578	○	継続			
					9,212	9,230	8,736			27,178					
					102.4%	101.9%	93.9%	0.0%	0.0%	58.3%					

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

12	②	アフタースクール運営事業	○	全小学校区を対象とした放課後時の児童の預かり、放課後児童支援員等の処遇改善を図るための資上げ原資の補助	109,495	108,077	119,235	121,369	128,000	586,176	○	継続			
					96,559	109,268	109,999			315,826					
				新設社地域アフタースクールの運用開始(R7. 4. 1～)	88.2%	101.1%	92.3%	0.0%	0.0%	53.9%					
13	②	アフタースクール施設整備事業	○	小中一貫校開校に合わせて、アフタースクールを小中一貫校単位に集約するための実施設計、施設整備工事	23,250	468,326		132,919	579,554	1,204,049	○	完了・完了予定	令和8年度から滝野アフタースクール施設整備工事を開始し、令和10年度から新設滝野アフタースクールの開所及び集約につなげる。		令和7年度から、施設整備工事を完了した「やしろなかよしくらぶ」の運用を開始し、社地域のアフタースクールの集約につなげた。
					16,822	438,540				455,362					
			○		72.4%	93.6%	—	0.0%	0.0%	37.8%					
14	②	ファミリー・サポート・センター事業	○	育児に支援が必要な方と支援できる方との相互援助活動の調整	3,574	4,039	4,492	4,673	4,700	21,478	○	継続			
					3,534	4,304	4,477			12,315					
					98.9%	106.6%	99.7%	0.0%	0.0%	57.3%					
15	②	児童館運営事業	○	児童厚生員等の指導による親子活動の実施、児童館の管理運営、新たな一時預かり事業の検討、滝野児童館の大規模改修、社児童館の空調更新	32,085	87,424	88,271	9,387	12,000	229,167	○	継続	令和6年度から開始したインスタグラム、令和7年度の大規模改修工事による環境改善により、来館者増加を図った。		
					29,525	9,179	65,359			104,063					
				令和7年度に滝野児童館の大規模改修工事、社児童館の空調設備更新工事を実施。	92.0%	10.5%	74.0%	0.0%	0.0%	45.4%					
16	②	重層的支援体制整備事業(利用者支援事業)	○	やしこどものいえ、滝野児童館及び東条鯉こいランドでの子育てに関する情報提供、相談及び支援制度の紹介	6,246	6,792	19,296	20,487	21,000	73,821	○	継続			
					6,175	14,341	19,912			40,428					
					98.9%	211.1%	103.2%	0.0%	0.0%	54.8%					
17	②	重層的支援体制整備事業(地域子育て支援拠点事業)	○	子育て親子への学習・交流・集いの場の提供、子育て相談の実施、サークル活動の支援、兵庫教育大学「かとうGENKI」への地域子育て支援拠点事業の委託	35,479	41,619	37,359	39,882	40,000	194,339	○	継続			
					34,621	39,464	37,003			111,088					
					97.6%	94.8%	99.0%	0.0%	0.0%	57.2%					
予算(計画) 事業費 合計					1,768,818	2,339,689	2,056,236	2,086,931	2,646,607	10,898,281					
決算 事業費 合計					1,752,697	2,317,353	1,947,824	0	0	6,017,874					
執行率					99.1%	99.0%	94.7%	0.0%	0.0%	55.2%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書
施策	1	学校教育環境の充実	44
主要施策	7	学校教育環境の整備充実	ページ

部	教育振興部	課	教育総務課	所管部長	長田 徹	作成担当	役職	学校給食センター所長	氏名	芹生祥子
				所管課長	堅田美佳		役職	副課長	氏名	小笠原和慶
								係長	氏名	梶田真智子

将来あるべき姿
安全で快適な教育環境が整い、子どもたちが充実した学校生活を送っています。

協働の取組(市の取組) 計画内容
① 学校教育施設や設備の整備・維持管理〔総合戦略〕
児童・生徒が安全、快適に学校生活を送ることができるよう、学校施設を適切に維持管理するとともに、長寿命化を図るため、計画的に改修します。また、高速大容量通信環境の整備など、ICT教育環境の充実に向けた取組を進めます。
② 就学援助の実施と学校給食の充実〔総合戦略〕
経済的に就学困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費や給食費などを援助します。また、学校給食センターの安全・衛生管理を徹底するとともに、地元産の食材を取り入れた安全・安心なおいしい給食を提供します。

R5～R7における成果
小中一貫校の整備を見据えた適切な維持管理及び必要な設備の整備を行い、安全・安心で快適な教育環境を確保した。 令和7年度にネットワーク機器等を更新し、社学園における高速大容量通信環境の整備による、ICT教育環境の充実を図るとともに、教職員の働き方改革を推進するため、令和7年度末には新しい校務支援システムを導入した。 令和7年に開校した社学園に11台のスクールバスを導入し運行を開始した。 学校や福祉部局と連携して制度を周知し、学用品費などを援助することで、義務教育の円滑な実施が推進できた。また、生徒のヘルメット購入費について補助を行った 市立学校に通う児童生徒の給食費について、国に先駆けて令和5年度の2学期から無償化するとともに、市立学校以外に通う児童生徒の世帯に支援金を交付し、子育て世帯の経済的負担軽減を図った。 加えて、「かとう夢プラン」による季節感のある食材や地産地消を活かした給食の提供により、安全・安心で、食の楽しみを感じられる

次期計画に向けた課題・取組方針
小中一貫校の整備を見据えた施設の管理が必要であるため、学校や関係部局等と密に調整し、維持管理、改修を実施していく。 また、個別最適化の学習を図るため学習者用端末の計画的、効率的な更新に取り組む。 児童生徒やその世帯の状況を踏まえ、就学の促進、教育の機会均等、義務教育の円滑な実施とともに、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、継続して就学援助事業を実施していく必要がある。 給食については、引き続き食育や地産地消の推進に取り組んでいくほか、低アレルギー食品を活用し、安全・安心で、おいしい給食を提供する。また、残菜量が減少するよう学校と連携しながら取り組んでいく。

総合評価			
一次 (内部)	R5～R7成果		B
	目標達成状況		B
	R5	R6	B
	A	B	
二次 (外部)			
	R5	R6	
	A		
【一次(内部)評価理由】			
【二次(外部)評価意見等】			
【評価基準】			
[R5～R7成果]			
S: 取組により十分な成果があった			
A: 取組により概ね目標とする成果があった			
B: 取組により一部成果があった			
C: 取組(時期・内容)に改善が必要			
[目標達成状況]			
S: 全ての指標を達成した			
A: 全ての指標の達成率が80%以上			
B: 過半数の指標の達成率が60%以上			
C: 半数以上の指標の達成率が60%未満			
[総合評価]			
S: 十分な成果があった			
A: 概ね目標とする成果があった			
B: 一部成果があった			
C: 成果が不十分で改善が必要			

まちづくり指標						年度目標達成状況															
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値					下段:実績値					上段:達成率			下段:年度目標達成状況		
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	
①ICT機器の使用が学習に役立つと思う児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、ICT機器の使用が学習に役立つと思う児童・生徒の割合	%	↗	↑	65.1 (R4)	66.0 70.4	67.0 69.7	68.0 69.0	69.0	70.0	106.7% ★★★	104.0% ★★★	101.5% ★★★								
①②学校教育環境の整備充実に対する満足度	市民アンケートにおいて、学校教育環境の整備充実について満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	83.1 (R4)	— —	— —	85.1 77.1	—	86.1	— —	— —	90.6% ★★								
②学校給食の副食(野菜)における市内産食材の使用割合	学校給食において、副食(野菜)に占める市内産食材の割合	%	→	↑	25.1	26.0 25.8	27.0 19.3	28.0 15.1	29.0	30.0	99.2% ★★	71.5% ★	53.9% ☆								

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容[2025(R5)～2027(R9)] 下段:2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算[千円]、中下段:執行率、下段:実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	教育振興基本計画策定事業	○				1,993			1,993	○	継続			
							1,979			1,979					
				第4期加東市教育振興基本計画の策定	—	—	99.3%	—	—	99.3%					
2	①	教育・校務用情報システム管理事業	○	校務支援システム(クラウド)の運用	5,365	3,634	24,656	6,290	6,290	46,235	○	継続		国の補助金を活用して新しい校務支援システムを導入した	
					7,792	3,634	21,670			33,096					
				校務支援システム(クラウド)の更新	145.2%	100.0%	87.9%	0.0%	0.0%	71.6%					
3	①	ICT機器管理支援事業	○	ICT機器管理支援員の配置	15,928	18,546	17,718	17,407	17,407	87,006	○	継続			
					14,996	17,896	16,887			49,779					
					94.1%	96.5%	95.3%	0.0%	0.0%	57.2%					
4	①	スクールバス乗降場所整備	○	スクールバスの乗降場所整備				7,300		7,300	—	完了・完了予定	R8～実施予定		
										0					
					—	—	—	0.0%	—	0.0%					
5	①	旧社域小学校管理事務事業	○	社域閉校後施設改修の実施、用地整理			28,838	13,126	6,396	48,360	○	完了・完了予定	R11完了予定		
							21,799			21,799					
				社域閉校後施設改修の実施	—	—	75.6%	0.0%	0.0%	45.1%					
6	①	小学校ICT教育等環境整備事業	○	教育用・校務用パソコンの運用、電子黒板の運用、学習者用端末の運用、更新	35,364	32,326	27,816	77,288	24,284	197,078	○	継続		学習者用端末について国の補助制度が利用できる県の共同調達により更新を実施した	
					36,657	24,914	27,708			89,279					
				教育用・校務用パソコンの更新、電子黒板の更新、学習者用端末の更新、教師用教科書・指導書の購入、デジタル教科書の更新	103.7%	77.1%	99.6%	0.0%	0.0%	45.3%					
7	①	中学校ICT教育等環境整備事業	○	教育用・校務用パソコンの運用、電子黒板の運用、学習者用端末の運用、更新	5,787	5,017	65,541	5,297	4,653	86,295	○	継続		学習者用端末について国の補助制度が利用できる県の共同調達により更新を実施した	
					9,668	3,433	65,132			78,233					
				教育用・校務用パソコンの更新、電子黒板の更新、学習者用端末の更新、教師用教科書・指導書の購入、デジタル教科書の更新	167.1%	68.4%	99.4%	0.0%	0.0%	90.7%					
8	①	小学校施設整備事業	○	老朽施設の補修・改修、社会学諸学校の遊具設置	30,626	27,189	3,810	15,440		77,065	○	継続			
					25,199	25,396	4,435			55,030					
				施設及び遊具等の補修・改修・点検	82.3%	93.4%	116.4%	0.0%	—	71.4%					
9	①	中学校施設整備事業	○	老朽施設の補修・改修の実施	3,769	91,887	1,518	514	3,500	101,188	○	継続			
					27,486	70,085	1,460			99,031					
				施設及び遊具等の補修・改修・点検	729.3%	76.3%	96.2%	0.0%	0.0%	97.9%					
10	①	小学校管理事務事業	○	特殊建築物定期調査の実施	24,618	23,736	1,538	1,812	2,137	53,841	○	継続			
					22,409	23,016	1,037			46,462					
				特殊建築物定期調査の実施	91.0%	97.0%	67.4%	0.0%	0.0%	86.3%					
11	①	中学校管理事務事業	○	特殊建築物定期調査の実施	9,608	10,498	1,017	839	659	22,621	○	継続			
					8,678	10,172	616			19,466					
				特殊建築物定期調査の実施	90.3%	96.9%	60.6%	0.0%	0.0%	86.1%					

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段:2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
12	①	スクールバス運行管理事業	○	小中一貫校スクールバスの運行管理	22,373	25,830	114,936	117,225	117,225	397,589	○	継続			
					25,161	25,637	113,640			164,438					
				社学園、東条学園スクールバスの運行管理	112.5%	99.3%	98.9%	0.0%	0.0%	41.4%					
					○	○	○	○	○						
13	②	スクールバス安全装置設置事業	○		1,000					1,000	○	完了・完了予定	R5事業完了		
					660					660					
				スクールバス(5台)への安全装置設置	66.0%	—	—	—	—	66.0%					
					○										
14	②	給食施設管理運営事業			550	40,913				41,463	○	完了・完了予定	R6事業完了		
					0	38,610				38,610					
				安全・衛生管理、連続揚物機・焼物機更新	0.0%	94.4%	—	—	—	93.1%					
					○	○									
15	②	学校給食材料購入事業	○	学校給食の食材購入及び炊飯・製パン加工業務委託	161,131	171,499	181,374	205,012	205,012	924,028	○	継続			
					160,652	167,298	188,875			516,825					
					99.7%	97.6%	104.1%	0.0%	0.0%	55.9%					
					○	○	○	○	○						
16	②	小学校就学援助事務事業	○	経済的な理由によって就学困難な児童の保護者に対する学用品費や給食費などの一部援助	30,382	19,380	17,176	15,727	15,727	98,392	○	継続	オンライン申請により保護者の申請時の負担や、学校事務の負担軽減を図りながら適切な給付に努めた。		
					28,005	18,994	13,493			60,492					
				6校へ制度の周知を行い、283人に学用品費やオンライン学習通信費などの援助を実施	92.2%	98.0%	78.6%	0.0%	0.0%	61.5%					
					○	○	○	○	○						
17	②	中学校就学援助事務事業	○	経済的な理由によって就学困難な生徒の保護者に対する学用品費や給食費などの一部援助	21,029	13,787	10,763	8,957	8,957	63,493	○	継続	オンライン申請により保護者の申請時の負担や、学校事務の負担軽減を図りながら適切な給付に努めた。		
					18,080	10,969	8,942			37,991					
				6校へ制度の周知を行い、143人に学用品費やオンライン学習通信費などの援助を実施	86.0%	79.6%	83.1%	0.0%	0.0%	59.8%					
					○	○	○	○	○						
18	②	小中学校給食費無償化事業	○	学校給食費の無償化による子育て世帯への支援	21,029	20,123	19,008	21,645	21,645	103,450	○	継続	国の交付金を利用しながら、物価高騰による保護者の負担軽減を図った		
					10,364	15,625	15,554			41,543					
				加東市立小中学校の給食費を無償化し、加東市立外の学校へ通う児童生徒の保護者に給食費相当額を支援	49.3%	77.6%	81.8%	0.0%	0.0%	40.2%					
					○	○	○	○	○						
19	②	給食費等子育て世帯負担軽減事業(小中学生分)	○	物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援金の支給	306					306	○	完了・完了予定	R5事業完了		
					153					153					
				(小中学生の)子育て世帯へ支援金を支給	50.0%	—	—	—	—	50.0%					
					○										
20	②	子どもの貧困対策連携事業	○	関係部局との連携による子どもの貧困対策に係る支援の円滑な推進						0	○	継続			
										0					
				関係部局と連携して各種支援を推進	—	—	—	—	—	—					
					○	○	○	○	○						
予算(計画) 事業費 合計					388,865	504,365	488,864	493,453	427,496	2,303,043					
決算 事業費 合計					395,960	455,679	481,428	0	0	1,333,067					
執行率					101.8%	90.3%	98.5%	0.0%	0.0%	57.9%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。

また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書
施 策	2	生涯学習の充実	45
主要施策	8	市民文化の創造の促進	ページ

部	教育振興部	課	生涯学習課	所管部長	長 田 徹	作成 役職	副課長	氏名	金高将彦
				所管課長	松本裕介	役職	係長	氏名	岸本素直
								氏名	

将来あるべき姿
文化芸術に触れる機会が提供され、多世代が関わり合った地域文化を形成し、地域の伝統を次世代に継承しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容				R5～R7における成果				次期計画に向けた課題・取組方針				総合評価			
① 文化芸術に触れる機会の充実【総合戦略】	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
														世界的指揮者である佐渡裕氏指揮オーケストラや日本木管コンクール等、市民にレベルの高い演奏に触れる機会を提供することで、文化芸術に対する関心を深めることができた。子どもから高齢者まで幅広い世代に対して文化芸術を鑑賞する機会を提供し、市民の文化意識を醸成を図ることができた。	子どもたちの豊かな心や感性、創造性を育むことができるよう、気軽に文化芸術に触れられる機会を提供するとともに、上質かつ多彩な芸術鑑賞により、市民の文化及び教養の向上を図っていく。
地域における伝統文化などの文化芸術の振興を図るため、世代を超えて鑑賞できる文化芸術の場を提供するとともに、気軽に参加できるふれあいや活動、体験の機会を確保します。また、多分野、多世代の文化芸術団体が一堂に会する発表の場や機会の充実に取り組みます。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
② 文化財の有効活用【総合戦略】	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
														潜在する貴重な資料を保護し、作成された時代の文化を垣間見ることができた。講座開催、資料公開等の広報や普及啓発など文化財に関する発信を行うとともに、滝野地域小中一貫校建設関連工事に伴う発掘調査の現地説明会では、普段は見ることのできない貴重な遺跡に触れる機会となり、地域の歴史をより身近に感じることができた。	調査・保護事業で得た成果の公開や普及事業への活用を通じて、身近にある歴史を浸透させることで、郷土への関心や愛着を高めていく。埋蔵文化財について、貴重な歴史的財産が亡失することのないよう、今後も保存活動を継続しながら、調査成果を積極的に公開していく。
歴史的事象や地元の著名な人物などを紹介するとともに、加古川流域滝野歴史民俗資料館などの来館者増加に向けた取組を進めます。また、文化財の価値や魅力を広く周知し、その価値や魅力をさらに高めるため、文化財を活用した事業やイベントを実施します。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	⇒	⇒	⇒												

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段: 目標値					下段: 実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①文化・芸術に関する施策の重要性	市民アンケートにおいて、文化・芸術に関する施策を重要だと感じる市民の割合	%	↗	↑	69.1 (R4)	—	—	70.5	—	71.5	—	—	94.2%		
②加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の来館者満足度	来館者アンケートにおいて、施設内の展示物などを満足と感じる方の割合	%	→	↑	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	101.4%	105.8%	106.3%		
②文化財等の啓発活動回数	文化財等の価値や魅力を伝える啓発活動の実施状況	回	↗	↑	17	17	17	18	18	18	52.9%	52.9%	33.3%		
						9	9	6			☆	☆	☆		

【年度目標達成状況】★★★: 達成、★★: 達成率80%以上、★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	文化祭事業	○	子ども美術作品展及び公民館サークル作品展の開催	240	464				704	○	完了・完了予定	R6事業完了		
					105	0				105					
				事業の統合	43.8%	0.0%	—	—	—	14.9%					
2	①	公募美術展事業	○	公募美術展の開催	1,889	1,921	1,932	1,882	1,882	9,506	○	継続		オンライン申込により応募手続きの円滑化を図るとともに、市制20周年特別賞を授与した。	
					1,745	1,824	1,779			5,348					
					92.4%	95.0%	92.1%	0.0%	0.0%	56.3%					
3	①	ギャラリー活用事業	○	市收藏品展等の開催	192	349	282	194	194	1,211	○	継続		榎倉香邨遺作展や坂本遺展において、お弟子さんやご家族、関係者との調整を丁寧に進め、展覧会を開催した。	
					173	244	266			683					
					90.1%	69.9%	94.3%	0.0%	0.0%	56.4%					
4	①	伝の助かるた大会	○	伝の助かるた大会の開催	111	121	115	115	115	577	○	継続			
					108	121	108			337					
					97.3%	100.0%	93.9%	0.0%	0.0%	58.4%					
5	①	文化事業開催委託	○	文化振興団体への委託による幅広い年齢層の趣味・嗜好を考慮したさまざまなイベントの開催	24,231	29,347	35,399	30,476	30,476	149,929	○	継続		市制20周年事業のスタートとして佐渡裕指揮オーケストラコンサートを開催した。	
					24,231	31,526	34,263			90,020					
					100.0%	107.4%	96.8%	0.0%	0.0%	60.0%					
6	①	文化振興事務	○	文化振興各種団体への支援、地域の文化芸術活動や後継者育成に対する支援、多分野・多世代・市内外の団体間の文化交流機会の提供	1,757	1,757	1,757	2,137	2,137	9,545	○	継続			
					1,757	1,757	1,717			5,231					
					100.0%	100.0%	97.7%	0.0%	0.0%	54.8%					
7	①	やしろ国際学習塾整備事業	○	長寿命化計画に基づく施設修繕	100,852	13,954	50,050		31,000	195,856	○	継続			
					74,333	8,910	37,840			121,083					
					73.7%	63.9%	75.6%	—	0.0%	61.8%					
8	①	やしろ国際学習塾管理運営事業	○	指定管理者によるやしろ国際学習塾の管理運営	58,000	59,540	59,540	80,775	83,022	340,877	○	継続			
					58,045	58,540	58,701			175,286					
					100.1%	98.3%	98.6%	0.0%	0.0%	51.4%					
9	①	東条文化会館管理運営事業	○	指定管理者による東条文化会館の管理運営	18,727	20,978	21,768	26,300	26,700	114,473	○	継続			
					18,044	19,978	22,229			60,251					
					96.4%	95.2%	102.1%	0.0%	0.0%	52.6%					
10	②	文化財保護対策事業	○	文化財の保全・啓発、潜在的な歴史的対象や著名人等の掘り起こし	3,757	3,434	2,907	6,162	4,885	21,145	○	継続			
					3,925	2,639	2,033			8,597					
					104.5%	76.8%	69.9%	0.0%	0.0%	40.7%					
11	②	埋蔵文化財調査事業	○	開発等に伴う試掘調査の実施	3,603	1,076	1,079	989	989	7,736	○	継続		専門機関との連携で調査精度が上がり、多くの成果が得られた。	
					1,654	264	293			2,211					
					45.9%	24.5%	27.2%	0.0%	0.0%	28.6%					

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

12	②	歴史民俗資料館管理運営事業	○	歴史民俗資料館の管理運営、市民等を対象とした文化財資料の展示会及び関連する講座・講演会等の開催	976	980	992	844	933	4,725	○	継続			
					915	1,103	662			2,680					
					93.8%	112.6%	66.7%	0.0%	0.0%	56.7%					
					○	○	○	○	○						
13	②	三草藩武家屋敷管理運営事業		三草藩武家屋敷の管理運営	1,303	1,373	3,029	1,785	1,582	9,072	○	継続			
					1,185	1,263	2,387			4,835					
					90.9%	92.0%	78.8%	0.0%	0.0%	53.3%					
					○	○	○	○	○						
予算(計画) 事業費 合計					215,638	135,294	178,850	151,659	183,915	865,356					
決算 事業費 合計					186,220	128,169	162,278	0	0	476,667					
執行率					86.4%	94.7%	90.7%	0.0%	0.0%	55.1%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書
施 策	1	学校教育環境の充実	46
主要施策	9	社会教育を支える土台づくり	ページ

部	教育振興部	課	生涯学習課	所管部長	長田 徹	作成 担当	役職	副課長	氏名	金高将彦
				所管課長	松本裕介		役職		氏名	

将来あるべき姿

魅力ある学習環境・機会が整うことで、市民の豊かな心や人間力が育まれ、生きがいをもって地域社会に参画しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容				R5～R7における成果				次期計画に向けた課題・取組方針				総合評価	
① 学びの場や機会の充実【総合戦略】	成人学習事業や高齢者大学、小学生チャレンジスクールなど、ライフステージに応じた多様な学びの場や機会を充実させるとともに、学習の成果を地域に還元できるよう、学びを通して身に付けた知識や技術などを発表する機会づくりや成果を生かせる場づくりに取り組みます。また、各種団体やサークルの活動支援や充実した学習を行うための環境整備に努めます。	⇒	小学生から高齢者まで、それぞれの年代を対象とした事業や講座を展開し、参加者からは高い満足度の評価を得ることができ、ライフステージに応じた魅力ある学習機会の提供をすることができた。各公民館における公民館まつりや交流会を開催し、利用団体等が練習の成果を発表する機会を提供した。	⇒	各年代に対する講座等では、ニーズに応じた学習や新しい学びを提供できるよう、魅力ある事業を企画・展開していく必要がある。また各活動団体には、よりよい学習環境を提供するとともに、発表機会の創出などにより活動が活性化するように支援を行っていく必要がある。	➡	一次 (内部)	R5～R7成果	A				
				目標達成状況	A								
				R5 R6 A A	A								
				二次 (外部)	R5 R6 A								
				【一次(内部)評価理由】									
		⇒		⇒				【二次(外部)評価意見等】					
		⇒		⇒				【評価基準】					
		⇒		⇒				【R5～R7成果】					
		⇒		⇒				S: 取組により十分な成果があった					
		⇒		⇒				A: 取組により概ね目標とする成果があった					
		⇒		⇒				B: 取組により一部成果があった					
		⇒		⇒				C: 取組(時期・内容)に改善が必要					

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①生涯学習活動の満足度	市民アンケートにおいて、生涯学習活動の現状を満足と感じる市民の割合	%	→	↑	84.0 (R4)	—	—	85.5	—	86.5	—	—	99.4%		
①活動団体・サークル届出数	社・滝野・東条公民館とコミュニティセンター東条会館、さんあいセンター、明治館における生涯学習に関する団体・サークルの届出状況	団体	↘	↑	113	114	115	116	117	118	96.5%	91.3%	89.7%		
						110	105	104			★★	★★	★★		

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段:2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算〔千円〕、中下段:執行率、下段:実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	社会教育総務事務事業	○	各種社会教育事業の推進、社会教育関係団体への支援、文化芸術貢献者に対する表彰及び賞贈金の支給	2,907	2,549	2,562	2,401	2,401	12,820	○	継続			
					2,090	2,042	2,078			6,210					
					71.9%	80.1%	81.1%	0.0%	0.0%	48.4%					
2	①	地域学校協働本部事業	○	地域と学校の「連携・協働」を強化するため地域学校協働本部の運営	407	458	1,203	1,537	1,537	5,142	○	継続		R8年度から社会学園における協働活動を展開できるように協働活動推進員との調整を進めた。	
					196	510	684			1,390					
					48.2%	111.4%	56.9%	0.0%	0.0%	27.0%					
3	①	成人式事業	○	二十歳の集いの開催	1,757	1,792	1,799	1,762	1,762	8,872	○	継続		二十歳のつどい実行委員会メンバーがアトラクションとして「記念抽選会」を企画し、市制20周年記念事業として実施した。	
					1,552	1,504	1,648			4,704					
					88.3%	83.9%	91.6%	0.0%	0.0%	53.0%					
4	①	社公民館事務費	○	社公民館の活動運営事務、特殊建物定期報告、天井工事	944	832	944	899	899	4,518	○	継続			
					634	740	859			2,233					
					67.2%	88.9%	91.0%	0.0%	0.0%	49.4%					
5	①	滝野公民館事務費	○	滝野公民館の活動運営事務	842	840	920	1,135	1,135	4,872	○	継続			
					686	688	765			2,139					
					81.5%	81.9%	83.2%	0.0%	0.0%	43.9%					
6	①	東条公民館事務費	○	東条公民館の活動運営事務	1,058	918	953	785	785	4,499	○	継続			
					979	755	772			2,506					
					92.5%	82.2%	81.0%	0.0%	0.0%	55.7%					
7	①	公民館総務事務事業	○	公民館総括事務、施設予約システム保守	4,249	3,457	3,970	4,545	4,545	20,766	○	継続			
					4,200	3,247	3,899			11,346					
					98.8%	93.9%	98.2%	0.0%	0.0%	54.6%					
8	①	社公民館維持管理事業	○	社公民館の管理運営	8,581	8,426	6,490	16,121	7,854	47,472	○	継続			
					6,095	6,641	6,689			19,425					
				特殊建築物定期報告、長寿命化計画に基づく施設修繕	71.0%	78.8%	103.1%	0.0%	0.0%	40.9%					
9	①	滝野公民館維持管理事業	○		52,117	117,928	9,492	11,975	9,642	201,154	○	継続			
					46,265	66,591	6,828			119,684					
					88.8%	56.5%	71.9%	0.0%	0.0%	59.5%					
10	①	東条公民館維持管理事業	○	東条公民館の管理運営、特殊建物定期報告、煙感知器の増設及び移設	1,128	860	712	1,760	974	5,434	○	継続			
					384	524	704			1,612					
					34.0%	60.9%	98.9%	0.0%	0.0%	29.7%					
11	①	東条会館管理運営事業	○	コミュニティセンター東条会館の管理運営	106,177	20,225	5,582	7,150	6,831	145,965	○	継続			
					62,920	4,867	5,517			73,304					
					59.3%	24.1%	98.8%	0.0%	0.0%	50.2%					

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

12	①	さんあいセンター管理運営事業	さんあいセンターの管理運営、特殊建築物定期報告	1,196 791 66.1% 〇	737 622 84.4% 〇	832 631 75.8% 〇	1,476 831 0.0% 〇	1,165 631 0.0% 〇	5,406 2,044 37.8% 〇	〇	継続			
13	①	明治館管理運営事業	明治館の管理運営、特殊建築物定期報告	2,035 1,568 77.1% 〇	1,656 1,285 77.6% 〇	13,500 1,834 13.6% 〇	2,545 0.0% 〇	2,272 0.0% 〇	22,008 4,687 21.3% 〇	〇	継続	R7土地購入費はR8へ繰越。		
14	①	公民館管理運営体制等検討事業	公民館等の社会教育施設の効率的な管理運営手法や地域コミュニティ活動施設等に転用する学校施設の活用方法の検討	— 〇	— 〇	— 〇	— 〇	— 〇	0 0 — 〇	〇	完了・完了予定	R5事業完了		社会教育施設の効率的な管理運営を検討し、学校施設(東条東・西小)をコミュニティ施設に転用して供用を開始した。
15	①	高齢者大学	〇 高齢者大学(3公民館を拠点とした地域ごとの各教室及び合同講座)の開催	1,958 624 31.9% 〇	2,250 669 38.6% 〇	2,136 1,022 47.8% 〇	1,410 671 0.0% 〇	1,410 671 0.0% 〇	9,164 2,515 27.4% 〇	〇	継続			
16	①	成人学習事業	〇 成人学習講座、公民館まつりの開催	669 399 59.6% 〇	669 291 43.5% 〇	518 435 84.0% 〇	671 0.0% 〇	671 0.0% 〇	3,198 1,125 35.2% 〇	〇	継続			
17	①	小学生チャレンジスクール	〇 小学生チャレンジスクール(伝統文化、福祉体験、創作体験、野外活動)の開催	1,740 1,169 67.2% 〇	1,685 780 46.3% 〇	1,174 526 44.8% 〇	970 0.0% 〇	970 0.0% 〇	6,539 2,475 37.8% 〇	〇	継続	保護者向け連絡アプリ「テトル」を活用し、参加者募集の案内をデジタル配信を中心に行うようにした。		
18	①	子ども教室	〇 地域子ども教室の開催	3,990 4,006 100.4% 〇	5,323 4,951 93.0% 〇	4,623 2,832 61.3% 〇	4,650 0.0% 〇	4,650 0.0% 〇	23,236 11,789 50.7% 〇	〇	継続	社会学園開校に伴い、社教室は5教室から1教室(社武道館)に集約して運営した。指導者と適宜連携して安全な居場所づくりに努めた。		
19	①	青少年活動に係る助成事業	〇 青少年健全育成を目的とした活動を実施する各種団体への支援	1,430 1,430 100.0% 〇	1,430 1,430 100.0% 〇	1,430 1,430 100.0% 〇	1,430 0.0% 〇	1,430 0.0% 〇	7,150 4,290 60.0% 〇	〇	継続			
20	①	学習成果活用・学習活動担い手育成事業	学習成果を地域社会に活かせる仕組みづくり、学習活動の担い手となる団体・サークルや人材の育成、生涯学習サポーターの充実	— 〇	— 〇	— 〇	— 〇	— 〇	0 0 — 〇	〇				
21	①	地域交流センター管理運営事業	地域交流センターの管理運営、特殊建築物定期報告、高圧受電設備・非常用発電機設備調査改修計画	25,993 14,996 57.7% 〇	20,793 12,396 59.6% 〇	23,766 15,377 64.7% 〇	27,014 0.0% 〇	24,973 0.0% 〇	122,539 42,769 34.9% 〇	〇	継続			
22	①	地域交流センター整備事業	長寿化計画に係る施設修繕	235,160 177,748 75.6% 〇	130,552 108,320 83.0% 〇	— — — 〇	— — — 〇	— — — 〇	365,712 286,068 78.2% 〇	〇	完了・完了予定	R6事業完了		

23	①	東条西ふれあい館管理 運営事業		東条西ふれあい館の管理運営	22,133	73,908	919	1,143	919	99,022	△	見直し	令和7年度以降2年かけて 検討		
					3,259	768	672			4,699					
				長寿命化改修工事	14.7%	1.0%	73.1%	0.0%	0.0%	4.7%					
				○	○	○	○	○	△						
予算(計画) 事業費 合計					476,471	397,288	83,525	91,379	76,825	1,125,488					
決算 事業費 合計					331,991	219,821	55,202	0	0	607,014					
執行率					69.7%	55.3%	66.1%	0.0%	0.0%	53.9%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書
施 策	2	生涯学習の充実	47
主要施策	10	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ページ

部	教育振興部	課	生涯学習課	所管部長	長 田 徹	作成 役職	主査	氏名	中尾亮太
				所管課長	松本裕介	役職		氏名	

将来あるべき姿
市民がそれぞれの年齢や体力に応じて気軽にスポーツを楽しむとともに、スポーツを通して、市民相互の親睦や理解が深められ、市民の健康増進や体力向上が図られています。

協働の取組(市の取組) 計画内容				R5～R7における成果				次期計画に向けた課題・取組方針				総合評価				
① スポーツを通じた健康・体力づくりの推進【総合戦略】	幅広い世代の市民がスポーツ活動により、健康増進や体力向上を図ることができるよう、各種スポーツ事業を充実させるとともに、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の実施を促進します。また、社会体育施設の適切な維持管理に努めます。	⇒		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	一次 (内部)	R5～R7成果	A	
														目標達成状況	A	
														R5	R6	A
														A	S	
														二次 (外部)	R5	R6
【一次(内部)評価理由】																
② 指導者の育成と指導力の向上【総合戦略】	市民のスポーツに対する多様なニーズに応えるため、スポーツ推進委員や社会体育推進委員の確保に加えて、ニュースポーツをはじめとする各種スポーツ・レクリエーションの指導者のさらなる育成と指導力向上を図ります。	⇒		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	二次 (外部)	【二次(外部)評価意見等】		
														【評価基準】		
														[R5～R7成果] S: 取組により十分な成果があった A: 取組により概ね目標とする成果があった B: 取組により一部成果があった C: 取組(時期・内容)に改善が必要		

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段: 目標値					下段: 実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①社会体育施設利用件数	社会体育施設の利用状況	件	↘	↑	10,652	10,800	10,900	11,000	11,100	11,200	112.3%	117.5%	98.7%		
						12,124	12,805	10,853			★★★	★★★	★★★		
①②スポーツ活動支援の満足度	市民アンケートにおいて、スポーツ活動の支援を満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	82.7 (R4)	—	—	86.0	—	88.0	—	—	96.7%		
						—	—	83.2			—	—	★★		

【年度目標達成状況】★★★: 達成、★★: 達成率80%以上、★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算〔千円〕、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	社会体育総務事業	○	スポーツ振興貢献者に対する表彰及び賞賜金の支給	7,551 6,845 90.7% ○	7,528 7,326 97.3% ○	7,366 6,852 93.0% ○	8,481 ○ 0.0% ○	7,781 ○ 0.0% ○	38,707 21,023 54.3% △	○	見直し	社会体育推進委員のあり方及びスポーツ推進委員の報酬に関する見直し		
2	①	地区親善ソフトボール大会	○	地区親善ソフトボール大会の開催	144 78 54.2% ○	136 71 52.2% ○	152 119 78.3% ○	154 ○ 0.0% ○	154 ○ 0.0% ○	740 268 36.2% △	○	継続			
3	①	地区親善バレーボール大会	○	地区親善バレーボール大会の開催	160 146 91.3% ○	168 107 63.7% ○	171 80 46.8% ○	179 ○ 0.0% ○	179 ○ 0.0% ○	857 333 38.9% △	○	継続			
4	①	ゲートボール大会	○	市ゲートボール大会の開催	59 50 84.7% ○	59 10 16.9% ○	60 9 15.0% ○	62 ○ 0.0% ○	62 ○ 0.0% ○	302 69 22.8% △	○	継続			
5	①	ふれあいベタンク大会	○	市ベタンク大会の開催	41 39 95.1% ○	50 32 64.0% ○	55 43 78.2% ○	56 ○ 0.0% ○	56 ○ 0.0% ○	258 114 44.2% △	○	継続			
6	①	グラウンド・ゴルフ大会	○	市グラウンド・ゴルフ大会の開催	83 71 85.5% ○	89 77 86.5% ○	92 82 89.1% ○	93 ○ 0.0% ○	93 ○ 0.0% ○	450 230 51.1% △	○	継続			
7	①	卓球大会	○	市卓球大会の開催	185 168 90.8% ○	234 99 42.3% ○	240 100 41.7% ○	154 ○ 0.0% ○	154 ○ 0.0% ○	967 367 38.0% △	○	継続			
8	①	三草山登山	○	三草山登山を通じた自然とのふれあい、健康維持と体力づくり	171 167 97.7% ○	182 172 94.5% ○	182 165 90.7% ○	183 ○ 0.0% ○	183 ○ 0.0% ○	901 504 55.9% △	○	継続			
9	①	加東伝の助マラソン大会	○	スポーツ協会等を核にした実行委員会体制による未就学児から高齢者までを対象としたマラソン大会の開催	4,440 4,440 100.0% ○	4,440 4,440 100.0% ○	4,440 4,440 100.0% ○	4,440 ○ 0.0% ○	4,440 ○ 0.0% ○	22,200 13,320 60.0% △	○	継続	市制20周年記念事業とし、ゲストランナー招待・周辺自治体ゆるキャラ集合等を実施した。		
10	①	パークゴルフ大会	○	市パークゴルフ大会の開催	122 122 100.0% ○	120 83 69.2% ○	119 97 81.5% ○	47 ○ 0.0% ○	47 ○ 0.0% ○	455 302 66.4% △	○	継続			
11	①	スポーツ施設相互利用等推進事業	○	北播磨広域定住自立圏における、グラウンド・ゴルフ大会の開催による市外の団体などのスポーツを通じた交流機会の提供、スポーツ施設の相互利用の推進	200 113 56.5% ○	200 126 63.0% ○	200 170 85.0% ○	200 ○ 0.0% ○	200 ○ 0.0% ○	1,000 409 40.9% △	○	継続	新たな試みとして、ニュースポーツフェスティバルを実施し、圏内住民へのニュースポーツ体験機会を提供した。		

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

12	①	東条第一体育館整備事業		242,042					242,042	○	完了・完了予定	R5事業完了		
				210,351					210,351					
			東条第一体育館耐震・長寿命化改修及び空調設備整備工事	86.9%	—	—	—	—	86.9%					
13	① ②	スポーツクラブ21活動支援事業	○ 地域住民が主体となったスポーツクラブ21の活動に対する支援	17	17	15	12	12	73	○	継続			
				5	7	2			14					
				29.4%	41.2%	13.3%	0.0%	0.0%	19.2%					
				○	○	○	○	○						
14	① ②	体育施設管理運営事業	○ 指定管理者による社会体育施設の管理運営、旧福田小学校測量委託・施設修繕	77,471	82,977	83,087	90,195	90,195	423,925	○	継続			
				77,447	72,926	82,748			233,121					
				100.0%	87.9%	99.6%	0.0%	0.0%	55.0%					
				○	○	○	○	○						
15	②	スポーツ等指導者育成事業	○ スポーツ推進委員や各種スポーツ・レクリエーションについての地域の指導者の育成、ニュースポーツの推進	149	207	199	189	189	933	○	継続		ウォーキングイベントにおいて、コースやゲームの見直しを行い、継続参加者が感じるマンネリ化解消を図った。	
				134	128	108			370					
				89.9%	61.8%	54.3%	0.0%	0.0%	39.7%					
				○	○	○	○	○						
予算(計画) 事業費 合計				332,835	96,407	96,378	104,445	103,745	733,810					
決算 事業費 合計				300,176	85,604	95,015	0	0	480,795					
執行率				90.2%	88.8%	98.6%	0.0%	0.0%	65.5%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書
施 策	2	生涯学習の充実	48
主要施策	11	図書館機能の充実	ページ

部	教育振興部	課	中央図書館	所管部長	長 田 徹	作成 役職	館長	氏名	藤田智架子
				所管課長	藤田智架子	担任 役職	副課長	氏名	下山和子

将来あるべき姿
人にやさしくらしに役立つ図書館運営により、生涯学習が促進され、全世代の市民の教育と文化の発展に寄与しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容				R5～R7における成果				次期計画に向けた課題・取組方針				総合評価	
① 魅力ある図書館づくりの推進〔総合戦略〕	市民のニーズに対応した蔵書の充実や効果的な情報発信などにより、魅力ある図書館づくりを進めます。また、効率的な運営により、利用者サービスの向上に取り組みます。	⇒		⇒	WebOpacの本の検索画面で書影が見えるようにすることで予約件数が増加した。図書館アプリの活用を促進することにより、利用者の利便性が向上した。利用者からのリクエストに購入や相互貸借といった手段で、ほぼ100%対応できた。	⇒	今後も継続して、利用者の要求に応えるリクエスト図書や利用傾向に合わせた図書館資料の購入に加え、市民自らの学びの推進になるような図書館資料を充実する必要がある。		一次(内部)	R5～R7成果	A	A	
					目標達成状況		A						
					R5 A		R6 A						
					二次(外部)		R5 A		R6 A	【一次(内部)評価理由】			
② 図書館利用の促進〔総合戦略〕	あらゆる世代の市民の図書館利用を促進するため、利用者参加型の読書活動推進事業を展開するとともに、図書館の利用が困難な市民にも利用しやすいサービスを拡充します。また、「おとどけ図書館」「おでかけ図書館」を実施するなど、学校と連携した子どもの読書活動を推進します。	⇒		⇒	「おとどけ図書館」、「おでかけ図書館」を実施し、子どもたちに図書館に親しむきっかけを提供できた。また、クイズや工作、おはなし会等、読書活動推進事業として、あらゆる世代を対象とした行事を立案・実施できた。「はじめてであうえほん」をR6年8月からは、絵本等の配布を加えた「ブックスタート事業」として、保健センターの4か月児健診時に全ての親子に実施した。来館困難者に宅配サービスを実施した。これらの活動が図書館の利用促進につながった。	⇒	小学3年生対象の「おでかけ図書館」で作ったとしよかんカードで、継続して図書館を利用してもらえるよう取り組む必要がある。家庭でも本に親しむことで図書館の利用促進につなげるため、継続して「ブックスタート事業」を行う必要がある。来館困難者に対して、さらに図書の宅配サービスを充実させるよう努める。電子図書館サービス導入及び、図書館運営指針(仮)策定について調査・検討する。		二次(外部)	R5 A	R6 A	【二次(外部)評価意見等】	
							【評価基準】 [R5～R7成果] S: 取組により十分な成果があった A: 取組により概ね目標とする成果があった B: 取組により一部成果があった C: 取組(時期・内容)に改善が必要						

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標銘	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段: 目標値					下段: 実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①貸出密度	市民1人当りに貸し出した年間冊数	冊	↘	↑	12.9	12.9	12.9	13.0	13.1	13.2	88.4%	86.0%	83.1%		
						11.4	11.1	10.8			★★	★★	★★		
②図書館利用者数	図書等を借りた延べ人数と読書活動推進事業の延べ参加者数の合計	人	↘	↑	104,308	104,100	104,500	104,900	105,300	105,700	106.8%	96.3%	95.6%		
						111,211	100,648	100,319			★★★	★★	★★		

【年度目標達成状況】★★★: 達成、★★: 達成率80%以上、★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計 画方向 性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	図書館充実事業	○	図書館システムの維持管理及び更新、図書館資料等の購入、郷土資料の修繕・スキャニング、図書館システムマイナンバー対応端末保守	26,185	29,037	27,029	25,768	64,818	172,837	○	継続			
				図書館システムマイナンバー対応端末導入	26,041	28,743	26,933		81,717						
					99.5%	99.0%	99.6%	0.0%	0.0%	47.3%					
2	①	中央図書館施設維持管理事業		中央図書館の施設維持管理	33,381	44,232	6,575	6,481	6,481	97,150	○	継続		内装改修工事により、授乳室や飲食可能な部屋(フリースペース)を提供することが可能となり利便性が高まった。	
				内装改修工事、自動ドア取替修繕、LBS用絶縁バリア取付、2階書庫床改修	29,920	37,645	6,100		73,665						
					89.6%	85.1%	92.8%	0.0%	0.0%	75.8%					
3	①	滝野図書館施設維持管理事業		滝野図書館の施設維持管理、自動ドア修繕等、会議場屋上防水改修工事等	35,925	38,579	24,454	16,300	16,800	132,058	○	継続		滝野図書館の無線LAN機器更新に合わせて、中央・東条のWi-Fiの方式を統一したことにより、利便性が向上した。	
				屋上防水改修工事、1階屋上防水他改修工事、無線LAN環境機器更新工事	26,627	28,434	17,947		73,008						
					74.1%	73.7%	73.4%	0.0%	0.0%	55.3%					
4	①	東条図書館施設維持管理事業		東条図書館の施設管理	6,973	8,271	6,663	6,225	6,225	34,357	○	継続			
				椅子補修、カーテンウォールコーキング工事	5,169	6,555	5,432		17,156						
					74.1%	79.3%	81.5%	0.0%	0.0%	49.9%					
5	①	図書館施設指定管理者制度導入調査・研究事業	○	図書館施設の管理運営に係る指定管理者制度の導入についての調査・研究						0	×	継続			継続して調査・研究する。
					—	—	—	—	—						
					○	○	○	○	○						
6	① ②	図書館運営事業	○	レファレンスサービス及び郷土資料・地域資料の充実、図書館資料の配送、「おとどけ図書館」等の実施、近隣市町間の図書館資料の相互貸借及び館外返却サービスの実施、図書館資料の宅配サービス、読書バリアフリーの実施	7,491	2,480	2,401	3,275	3,275	18,922	○	継続			
					5,944	2,109	2,054		10,107						
					79.3%	85.0%	85.5%	0.0%	0.0%	53.4%					
7	②	図書館主催事業	○	おでかけ図書館(小学3年生を対象に図書館の見学及び本を借りる体験を行う事業)、読書活動推進のための行事の実施、ブックスタート事業の実施	113	1,015	1,065	1,169	1,169	4,531	○	継続			
					108	1,013	1,063		2,184						
					95.6%	99.8%	99.8%	0.0%	0.0%	48.2%					
8										0					
					—	—	—	—	—						
					○	○	○	○	○						
9										0					
					—	—	—	—	—						
					○	○	○	○	○						
10										0					
					—	—	—	—	—						
					○	○	○	○	○						
予算(計画) 事業費 合計					110,068	123,614	68,187	59,218	98,768	459,855					
決算 事業費 合計					93,809	104,499	59,529	0	0	257,837					
執行率					85.2%	84.5%	87.3%	0.0%	0.0%	56.1%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	Ⅶ	安全でおいしい水と快適な生活環境が持続されたまち	計画書
施 策	1	上下水道事業の充実	86
主要施策	39	上下水道事業の充実	ページ

部	上下水道部	課	管理課 工務課	所管部長	原田幸広	作成担当	役職	副課長	氏名	遠藤祐希 岡 嘉也
				所管課長	板谷昌宏 進藤恭輔		役職	係長	氏名	檜原武士 後藤直樹
							役職		氏名	

将来あるべき姿
公営企業の経営原則を踏まえ、将来にわたって安定的な経営を実施し、快適な暮らしと生活環境を維持しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		R5～R7における成果		次期計画に向けた課題・取組方針		総合評価	
① 上下水道の安定供給	一貫した水質管理により、水道水の安全性を確保します。また、老朽施設や管路の計画的な補強、更新を行い、災害に強い水道システムを構築します。	⇒	加東市の水質検査計画に基づいた水質検査を実施した結果、水質基準値を超えることはなかった。 令和5年3月作成の施設管路耐震化・更新計画に基づき、施設は耐震診断を行い、管路は更新に合わせて耐震化した。	⇒	大規模災害に備え、アセットマネジメント計画に基づき耐震化による補強、更新を実施しているが、完了までには、相当の年数がかかるため、要望額よりも少ない補助金や補助金の充当率の悪化などの要因もあるが、財政状況を考慮しつつ早期の完成を目指すなくてはならない。	一次 (内部)	R5～R7成果 A 目標達成状況 A
② 下水道の安定処理	中長期的視点に立ち、処理場、汚水管渠などを適切に維持管理することで、効率的な汚水処理を実施します。また、出水期に備え、雨水排水施設の適切な維持管理に努めます。	⇒	処理場、汚水管渠などは、日常の運転管理及びストックマネジメント事業による点検・調査や施設の改築工事を行った。 雨水施設は、ポンプ場の日常点検、雨水排水路及び調整池の堆積物除去を行った。 効率的な汚水処理の実現に向け、処理場統合整備を計画的に進めた。	⇒	効率的な汚水処理のため、残りの3地区の処理場統合整備を着実に進めるとともに、汚水処理施設の負荷軽減のため、ストックマネジメント計画に基づき不明水の削減を進めていかなくてはならない。	二次 (外部)	R5 R6 A S A 【一次(内部)評価理由】 上下水道事業会計の経常収支は黒字となった。また、社会情勢の影響により多少の遅延があるものの、概ね事業計画どおりに整備が進んでいるため。
③ 水道事業・下水道事業の安定経営	適切な水道料金、下水道使用料を維持するとともに、施設の統廃合を計画的に進め、中長期的な施設の状態を予測することで、投資費用を平準化します。	⇒	アセット(ストック)マネジメント計画に基づき、施設の統廃合を進めた。 上下水道事業ともに、令和7年3月に、財政収支の平準化を見据えた、新たな「ビジョン・経営戦略」を策定した。令和7年度には、経営戦略に記載した投資・財政計画と実際の収支を比較し、次年度以降の事業運営の方針を定めた。	⇒	人口減少に伴う収益の減少や老朽した施設・管路の更新需要の増大、近年の物価高騰による維持管理費の増加により、厳しい経営環境が予測できるため、アセット(ストック)マネジメント計画及び投資・財政計画を適時精査するとともに、官民連携、広域連携の推進及びDXの活用などによりレベルアップし、経営基盤の強化を図る。	【二次(外部)評価意見等】	
		⇒		⇒		【評価基準】	R5～R7成果 S: 取組により十分な成果があった A: 取組により概ね目標とする成果があった B: 取組により一部成果があった C: 取組(時期・内容)に改善が必要
		⇒		⇒		【目標達成状況】	S: 全ての指標を達成した A: 全ての指標の達成率が80%以上 B: 過半数の指標の達成率が60%以上 C: 半数以上の指標の達成率が60%未満
		⇒		⇒		【総合評価】	S: 十分な成果があった A: 概ね目標とする成果があった B: 一部成果があった C: 成果が不十分で改善が必要

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段: 目標値 下段: 実績値					上段: 達成率 下段: 年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①②上下水道等の整備の満足度	市民アンケートにおいて、上下水道などの整備状況を満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	86.7 (R4)	—	—	88.7	—	90.0	—	—	97.9%		
③水道事業経常収支比率	水道事業の健全化の状況(経常費用に対する経常収益の割合)	%	↘	↓	116.0	113.1	111.6	111.1	110.7	106.0%	108.9%	107.4%			
③下水道事業経常収支比率	下水道事業の健全化の状況(経常費用に対する経常収益の割合)	%	↗	↑	98.0	98.9	98.9	98.8	99.0	100.2	101.3%	101.3%	101.3%		
						100.2	100.2	100.1			★★★	★★★	★★★		

【年度目標達成状況】★★★: 達成、★★: 達成率80%以上、★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算〔千円〕、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	水道施設維持管理事業		水道浄水施設管理技士等を有する民間事業者への運転管理業務	55,031	68,216	63,545	63,545	63,545	313,882	○	継続			
					55,031	59,288	63,545			177,864					
					100.0%	86.9%	100.0%	0.0%	0.0%	56.7%					
2	①	統合浄水場整備事業		広沢・滝野浄水場の耐震化及び浄水機能の効率化を図るための統合浄水場の建設	631,400	519,744	63,800	30,800		1,245,744	○	完了・完了予定	～R8事業完了予定		浄水場の建設と不要になった施設の撤去を行い、ランニングコストの軽減を行った。
					143,500	517,697	28,636			689,833					
			○	統合浄水場の建設、不要となった滝野浄水場の一部撤去	22.7%	99.6%	44.9%	0.0%	—	55.4%					
3	①	道路整備関連配水管布設事業				27,390				27,390	○	完了・完了予定	R6事業完了		
						27,159				27,159					
				県道松尾青野ヶ原停車場線の道路改良に伴う関連配水管(L=131m)の移設	—	99.2%	—	—	—	99.2%					
4	①	基幹管路耐震化事業		基幹管路の耐震化	145,090	426,800	489,324	617,694	246,800	1,925,708	○	継続			
					103,881	341,836	222,522			668,239					
				山国地内ほかの基幹管路の耐震化 (L=3951m)	71.6%	80.1%	45.5%	0.0%	0.0%	34.7%					
5	①	水道施設耐震化事業		施設耐震化計画に基づく、水道施設(浄水場、配水池、加圧ポンプ所)の耐震化		45,100	42,900	53,900	40,000	181,900	○	継続			
						32,314	31,683			63,997					
				高区配水池ほか5箇所の耐震診断	—	71.6%	73.9%	0.0%	0.0%	35.2%					
6	①	緊急老朽管更新事業		老朽化が著しく早期に対策が必要な配水管の更新	115,390	290,950	247,390	239,437	234,165	1,127,332	○	継続			
					116,334	219,969	188,580			524,883					
				老朽配水管(L=4,661m)の更新	100.8%	75.6%	76.2%	0.0%	0.0%	46.6%					
7	②	マンホールポンプ場保守点検管理事業		安定した汚水の流下能力確保のための汚水マンホールポンプ場保守点検業務	12,132	14,382	15,537	15,537	15,537	73,125	○	継続			
					12,132	13,834	15,536			41,502					
					100.0%	96.2%	100.0%	0.0%	0.0%	56.8%					
8	②	下水処理施設維持管理事業		公共用水域の水質保全のための下水処理場運転管理業務	24,575	34,708	37,123	37,295	37,295	170,996	○	継続			
					24,575	30,364	36,592			91,531					
					100.0%	87.5%	98.6%	0.0%	0.0%	53.5%					
9	②	下水処理場統合整備事業		下水道効率化のための農集・コミプラ等(市内11か所)の公共下水道への接続	213,763	405,350	453,000	547,298	314,601	1,934,012	○	完了・完了予定	R9事業完了予定		処理施設を統合し不要になった施設の撤去を行い、ランニングコストの軽減を行った。
					180,814	172,956	209,998			563,768					
			○	上福田北部地区及び中部地区の公共下水道への接続完了、上鶴川地区の接続工事を一部完成	84.6%	42.7%	46.4%	0.0%	0.0%	29.2%					
10	②	ストックマネジメント事業		中長期的に下水道施設全体における老朽化の進展状況を考慮した施設全体の最適化	77,800	431,510	289,295	131,266	346,805	1,276,676	○	継続			計画に基づき、事業を行い、ライフサイクルコストの軽減を行った。
					33,660	85,653	113,617			232,930					
			○	管路のカメラ調査及びマンホール蓋の点検、管更新設計、管更生(L=593m)及び汚泥かき寄せ機(2基)の更新	43.3%	19.8%	39.3%	0.0%	0.0%	18.2%					
11	②	雨水幹線改築事業		下滝野地区雨水幹線における、老朽化した雨水管渠の改築による耐震化	0	373,760	0			373,760	○	完了・完了予定	R7事業完了		
					7,956	17,515	278,457			303,928					
				下滝野地区雨水幹線における、老朽化した雨水管渠の改築による耐震化(L=275m)	—	4.7%	—	—	—	81.3%					

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

12	③	アセットマネジメント事業		25,739	13,310				39,049	○	完了・完了予定	R7事業完了		経営戦略の精査、見直しを行い、今後の経営改善に関する指標を明確にした
			○	25,739	13,310				39,049					
				100.0%	100.0%	—	—	—	100.0%					
				○	○									
13	③	上下水道会計等事務業務委託事業		51,626	69,813	59,612	58,872	58,872	298,795	○	継続			
				51,626	55,618	59,242			166,486					
				100.0%	79.7%	99.4%	0.0%	0.0%	55.7%					
				○	○	○	○	○						
14	③	料金適正化事業		2024(令和6)年度から2027(令和9)年度までの適正な水道料金体系の設定についての検証					0	○	継続			
									0					
			○	—	—	—	—	—	—					
				○	○	○	○	○						
15	③	使用料適正化事業		2024(令和6)年度から2027(令和9)年度までの適正な下水道使用料体系の設定についての検証					0	○	継続			
									0					
			○	—	—	—	—	—	—					
				○	○	○	○	○						
16	③	下水道事業ビジョン・経営戦略策定事業		ストックマネジメント計画の経営戦略への反映、ビジョンと経営戦略の統合	7,700	22,913			30,613	○	完了・完了予定	R7事業完了		経営戦略の精査、見直しを行い、今後の経営改善に関する指標を明確にした
			○	6,930	14,098				21,028					
				90.0%	61.5%	—	—	—	68.7%					
				○	○									
17	③	水道ビジョン・経営戦略推進事業		水道ビジョン・経営戦略の推進、運営審議会による評価・検証					0	○	継続			
			○	—	—	—	—	—	0					
						○	○	○						
18	③	下水道ビジョン・経営戦略推進事業		下水道ビジョン・経営戦略の推進、運営審議会による評価・検証					0	○	継続			
			○	—	—	—	—	—	0					
						○	○	○						
予算(計画) 事業費 合計				1,360,246	2,743,946	1,761,526	1,795,644	1,357,620	9,018,982					
決算 事業費 合計				762,178	1,601,611	1,248,408	0	0	3,612,197					
執行率				56.0%	58.4%	70.9%	0.0%	0.0%	40.1%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	Ⅷ	戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち	計画書
施 策	1	戦略的行政経営の創造	88
主要施策	40	効率的かつ効果的な行政経営の推進	ページ

部	まちづくり政策部	課	企画政策課	所管部長	藤原英樹	作成担当	役職	主査	氏名	仲井智紀
				所管課長	岸本純子		役職		氏名	

将来あるべき姿
行財政改革の推進や根拠に基づく事業の立案、広域連携の推進により、効率的かつ効果的な行政サービスを提供し、まちの住みよさが向上しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容	R5～R7における成果	次期計画に向けた課題・取組方針	総合評価
① 総合計画に基づいたまちづくり 市政出前講座などによる市政に関する積極的な情報発信により、市民や地域、事業者などとまちづくりの方向性を共有し、総合計画に基づく協働のまちづくりを推進します。また、効率的かつ効果的な行政サービスの提供に向け、事業の選択と集中や行政手続の簡略化などを進めるとともに、所属を越えて事業提案ができる環境づくりに取り組みます。	R5～R7における成果 まちづくり推進市民会議を開催し、第2次総合計画後期基本計画における取組の評価・検証を行うとともに、出前講座を延べ181件実施し、8,170人に市政に関する情報発信を行い、市民の市政に対する関心・理解を深めた。また、事務事業の見直しと業務効率化を全庁的に働きかけ、例規集の印刷廃止や補助金の廃止、事業の統合・見直し等により、効率的・効果的な予算配分につなげた。	次期計画に向けた課題・取組方針 まちづくり推進市民会議を開催し、後期基本計画における取組の評価・検証や、出前講座を実施し、協働のまちづくりを推進するとともに、事務の見直しを進める。 研修で身に付けた知識等を活用し、事業の立案につなげていくための取組を進める。	総合評価 一次(内部) R5～R7成果 A 目標達成状況 B R5 R6 B B 二次(外部) R5 R6 B 【一次(内部)評価理由】 【二次(外部)評価意見等】 【評価基準】 [R5～R7成果] S: 取組により十分な成果があった A: 取組により概ね目標とする成果があった B: 取組により一部成果があった C: 取組(時期・内容)に改善が必要 【目標達成状況】 S: 全ての指標を達成した A: 全ての指標の達成率が80%以上 B: 過半数の指標の達成率が60%以上 C: 半数以上の指標の達成率が60%未満 【総合評価】 S: 十分な成果があった A: 概ね目標とする成果があった B: 一部成果があった C: 成果が不十分で改善が必要
② EBPMの推進 施策の有効性を高めるため、合理的根拠に基づいた事業の立案を推進します。そのため、職員のEBPMに関する意識・知識の向上や統計データを利用しやすい環境整備に取り組むとともに、EBPMを実践する職員のネットワークを構築します。	通年の職員研修を実施するとともに、EBPMの考え方を踏まえた事業提案の手引きを作成し、職員の意識・知識の向上につながった。また、行政運営の基礎となる統計データとなる人口・世帯の実態を明らかにするため、令和7年国勢調査を適切に実施した。速報値では、本市の人口は39,500人となり、人口増減率は、前回調査比で2.82%減となったものの、減少割合は北播磨地域では最も低く、県内でも41市町の中で11番目の低さとなった。	第3次共生ビジョンに基づき、連携事業を推進する。	
③ 広域連携の推進 地域の活性化と市民生活の利便性のさらなる向上に向け、近隣市町との連携による行政事務や市民サービスの提供について協議を進めます。	北播磨広域定住自立圏において、権利擁護・成年後見に関する専門的な相談・支援体制を確保するため、圏域市町の連携により「北はりま成年後見支援センター」を設置した。また、第2次共生ビジョンの総括を行い、第3次共生ビジョンを策定した。		

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①全主要施策の目標値達成割合	後期基本計画のすべての指標のうち、目標値を達成した指標の割合	%	↘	↑	47.9	54.5	61.0	67.5	74.0	80.0	80.0%	72.6%	59.5%		
						43.6	44.3	40.2			★★	★	☆		
②EBPMの実践による事業実施数(累計)	EBPMを実践し、事業を実施した数	件	—	↑	—	0	1	3	6	10	—	100.0%	66.7%		
						0	1	2			—	★★★	★		
③広域連携事業実施数(累計)	広域連携による事業実施数	件	↗	↑	7	8	9	10	11	12	100.0%	100.0%	90.0%		
						8	9	9			★★★	★★★★	★★		

【年度目標達成状況】★★★★:達成、★★★:達成率80%以上、★★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	企画事業		兵庫教育大学応援補助		3,752	5,503	3,000	3,000	15,255	○	継続			
				若手プロジェクトチーム「ゆめいく」による先進地視察、事業立案	—	3,316	4,844	—	—	8,160					
2	①	総合計画推進事業		市民等との協働のまちづくりの方向性の共有、まちづくり推進市民会議による第2次総合計画(第3次総合戦略)の評価・検証・総括、行財政改革の推進	—	88.4%	88.0%	0.0%	0.0%	53.5%	○	継続			
				市民意識調査(アンケート)の実施	○	○	○	○	○	—					
3	①	総合計画策定事業		第3次総合計画(第4次総合戦略)の策定及び人口ビジョンの改訂	4,996	—	—	6,886	14,764	26,646	○	実施予定	R8～9第3次総合計画策定分事業実施、R13～第3次総合計画基本計画改訂実施予定		
				第2次総合計画後期基本計画(第3次総合戦略)及び人口ビジョンの印刷製本	4,903	—	—	0.0%	0.0%	4,903					
4	①	総合教育会議運営事業		総合教育会議による第2期教育大綱の取組状況の評価・検証・総括	98.1%	—	—	0.0%	0.0%	18.4%	○	継続			
				次期教育大綱の策定	○	○	○	○	○	—					
5	①	借地適正化事業		借地に関する課題整理	—	—	—	—	—	—	○	継続			
			○		○	○	○	○	○	—					
6	①	行政組織の見直し		新たな行政需要への対応や事務効率向上を踏まえた行政組織の見直し検討	—	—	—	—	—	—	○	継続			
			○		○	○	○	○	○	—					
7	①	行政手続の見直し		効率的かつ効果的な行政サービスの提供のための各種手続の見直し	—	—	—	—	—	—	○	継続			
			○		○	○	○	○	○	—					
8	①	市制20周年記念事業		記念事業のとりまとめ	—	—	2,403	—	—	2,403	○	実施予定	R12～25周年記念事業実施予定		
				記念式典の開催	—	—	1,289	—	—	1,289					
9	②	EBPM推進事業		EBPM(合理的根拠に基づく政策立案)の推進のための庁内研修、環境整備及び事業の立案	—	—	—	—	—	—	○	継続			
			○		○	○	○	○	○	—					
10	②	国勢調査		2025(令和7)年国勢調査の実施	—	217	18,123	—	—	18,340	○	実施予定	R11～20206(令和12)年国勢調査実施予定		
				2025(令和7)年国勢調査の適正な実施のための調査区設定	—	285	20,648	—	—	20,933					
					○	○	○	○	○	—					

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

11	③	定住自立圏推進事業		北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会による共生ビジョンの評価・検証	153	308	324	139	139	1,063	○	継続				
					54	136	89			279						
			○	総括、次期共生ビジョンの策定	35.3%	44.2%	27.5%	0.0%	0.0%	26.2%						
					○	○	○	○	○							
予算(計画) 事業費 合計					5,149	5,004	30,889	10,876	17,903	69,821						
決算 事業費 合計					4,957	4,054	29,362	0	0	38,373						
執行率					96.3%	81.0%	95.1%	0.0%	0.0%	55.0%						

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	Ⅷ	戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち	計画書	部	まちづくり政策部	課	企画政策課	所管部長	藤原英樹	作成	役職	主事	氏名	小林沙耶奈
施 策	1	戦略的行政経営の創造	89							役職			氏名	
主要施策	41	持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	ページ					所管課長	岸本純子	担任	役職		氏名	

将来あるべき姿
くらしを支え、交流を促進し、地域とともに守り育てる持続可能な地域公共交通ネットワークが形成されています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		R5～R7における成果		次期計画に向けた課題・取組方針		総合評価			
① 地域公共交通ネットワークの形成【総合戦略】	⇒	⇒	令和6年4月に、乗合タクシー(伝タク)のルート・ダイヤを大幅に改正し、1日当たりの利用者が9.3人(R5)から13.0人(R7)に増加した。また、路線バスの減便の影響が大きい滝野地域で、令和7年1月から、滝野コミュニティバスの実証運行を開始し、その結果を踏まえ令和8年度からのルート変更を行った。ほかにも、デマンド型交通では、実証実験結果を踏まえて利用制限を緩和した上で、令和7年4月から本格運行を開始した。一方、スクールバスの空き時間を利用した定時定路線型交通は、実証実験の結果、利用が僅少であったことから、本格運行を見送った。	⇒	新たな地域公共交通の導入について、令和8年度末までを実証実験期間とする滝野コミュニティバスの運行実績から、年度末までに本格運行の可否を判断する必要がある。	一次 (内部)	R5～R7成果	A	
							目標達成状況	A	
							R5 R6 B A	A	
							R5 R6 A		
							② 地域公共交通の利便性の向上【総合戦略】	⇒	⇒
【一次(内部)評価理由】 滝野コミュニティバスの導入やデマンド型交通の本格実施など移動手段の充実に努めるとともに、高齢者への出前講座を実施し、公共交通利用者の醸成に努めた。									
	【二次(外部)評価意見等】								
		【評価基準】 [R5～R7成果] S:取組により十分な成果があった A:取組により概ね目標とする成果があった B:取組により一部成果があった C:取組(時期・内容)に改善が必要							
			③ 地域公共交通の利用促進【総合戦略】	⇒	⇒	公共交通ガイドブックを発行、全戸配布し、利用促進を図った。また、高齢者に公共交通を利用するきっかけとしてもらうため、シニアクラブ会員を対象に公共交通の乗り方教室を開催し、180人が参加した。 さらに、実証実験中である滝野コミュニティバスの周知及び利用促進を図るために、市内12か所のまちかど体験教室で出前講座を実施した。			

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①地域公共交通の人口カバー率	総人口に対する地域公共交通サービス圏域内の人口割合	%	↗	↑	60.9	—	—	76.0	80.0	80.0	—	—	82.9%		
②交通手段の確保に対する市民の満足度	市民アンケートにおいて、交通手段の状況を満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	43.5 (R4)	—	—	50.0	—	53.0	—	—	128.4%		
③公共交通機関を利用する市民の割合	市民アンケートにおいて、公共交通機関をできるだけ利用するよう意識している市民の割合	%	↗	↑	25.5 (R4)	—	—	26.5	—	27.5	—	—	94.3%		
						—	—	25.0			—	—	★★		

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働 の取組 番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算〔千円〕、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計 画方向 性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	地方バス等公共交通維持確保対策事業	○	生活交通手段として重要な役割を持つ路線バスの維持確保のための補助	56,839	58,528	58,477	55,892	55,892	285,628	○	継続			
					54,572	57,268	53,597			165,437					
				96.0%	97.8%	91.7%	0.0%	0.0%	57.9%						
2	①	自家用有償旅客運送事業	○	自家用有償旅客運送の地域への運行委託、運行車両の更新	8,574	15,195	8,895	15,096	8,895	56,655	○	継続			
					7,520	7,724	8,000			23,244					
				87.7%	50.8%	89.9%	0.0%	0.0%	41.0%						
3	①	スクールバス活用事業	○		2,500	3,772				6,272	○	完了・ 完了予定	令和6年度の実証実験の結果を踏まえ、本格運行を見送り		
					2,232	3,493				5,725					
			スクールバスを活用した定時定路線型交通の実証実験及び本格運行の見送り	89.3%	92.6%	—	—	—	91.3%						
4	①	乗合タクシー運行補助事業	○	社市街地を運行する乗合タクシーの運行補助	10,224	9,988	9,904	9,882	9,882	49,880	○	継続			
					9,906	9,428	9,402			28,736					
				96.9%	94.4%	94.9%	0.0%	0.0%	57.6%						
5	①	滝野コミュニティバス運行補助事業	○	滝野地域と社地域とをつなぐコミュニティバスの運行補助及び本格導入に向けた協議・検討	—	14,359	18,289	17,341		49,989	○	見直し	令和9年度以降は実証実験結果により判断		
					—	6,952	17,244			24,196					
				—	48.4%	94.3%	0.0%	—	48.4%						
6	①	デマンド型交通運賃補助金事業	○		6,000	5,858				11,858	○	見直し	R7～高齢介護課に所管替え		
					2,019	8,666				10,685					
			デマンド型交通の実証実験及び本格運行の開始	33.7%	147.9%	—	—	—	90.1%						
7	① ② ③	公共交通対策事業	○	地域公共交通計画に基づく施策の推進・評価・検証・総括、次期計画の策定	2,190	2,394	1,935	14,612	1,839	22,970	○	継続			
					3,380	2,339	1,873			7,592					
				154.3%	97.7%	96.8%	0.0%	0.0%	33.1%						
8	②	JR滝野駅トイレ洋式化・LED化事業					3,017			3,017	○	完了・ 完了予定	R7事業完了		
							2,381			2,381					
			JR滝野駅トイレの洋式化・LED化	—	—	78.9%	—	—	78.9%						
9	②	天神地区内駐輪場整備事業	○		—	28,967				28,967	○	完了・ 完了予定	R6事業完了		
					—	25,685				25,685					
			天神地区内への駐輪場の整備	—	88.7%	—	—	—	88.7%						
10	③	路線バス一律運賃制度事業	○	市内一律運賃制度の運用	11,770	14,172	17,480	20,883	19,709	84,014	○	継続			
					12,126	15,388	19,168			46,682					
				103.0%	108.6%	109.7%	0.0%	0.0%	55.6%						
予算(計画) 事業費 合計					98,097	153,233	117,997	133,706	96,217	599,250					
決算 事業費 合計					91,755	136,943	111,665	0	0	340,363					
執行率					93.5%	89.4%	94.6%	0.0%	0.0%	56.8%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

政 策	Ⅲ	戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち	計画書
施 策	2	まちの活力の創造	92
主要施策	44	シティプロモーションの推進	ページ

部	まちづくり政策部	課	企画政策課	所管部長	藤原 英樹	作成担当	役職	係長	氏名	藤原 惠
				所管課長	岸本 純子		役職		氏名	

将来あるべき姿

若い世代を中心に多くの人々から「選ばれるまち」になっています。

協働の取組(市の取組)		計画内容
①	ふるさと加東への愛着・誇りの醸成【総合戦略】	市民の定住意欲を高めるため、CATVや広報かとう、SNSなどにより、まちの魅力を発信し、郷土の素晴らしさの再認識・発見を促します。また、その魅力をより広く浸透させるため、市民の自主的なプロモーションを促進し、ふるさと加東への愛着や誇りを醸成します。
②	市の認知度の向上【総合戦略】	市への興味・関心を高め、人の流れをさらに促進していくため、ブランドイメージを明確にするとともに、マスメディアやふるさと納税、関東加東応援団との連携などを通じて、市の魅力を、民間事業者や団体などと連携・協力しながら、市外へ効果的に発信し、市の認知度の向上を図ります。あわせて、定住・移住希望者の受入環境の充実に取り組みます。

R5～R7における成果

SNSなどの各種媒体の活用やフォトコンテストの実施などにより、市の情報を発信するとともに、市民によるプロモーションを促進し、ふるさと加東への愛着や誇りの醸成につなげた。

SNSなどの各種媒体、ふるさと納税、都市部イベントへのブース出展を通して、本市の住みよさや本市が誇る特産品を全国に向けて発信した。加えて、ふるさと納税返礼品数の増加やオリジナル返礼品の企画、山田錦PRホームページの制作などに取り組み、さらなる知名度向上につなげた。

次期計画に向けた課題・取組方針

情報発信については他部署と連携しながら継続して行っていく。

引き続きSNSやふるさと納税等を通じて市の情報や魅力を広く発信していくとともに、様々な手法を組み合わせて、さらなる知名度向上を図る。

総合評価				
一次 (内部)	R5～R7成果		A	
	目標達成状況		S	
	R5 B	R6 A	A	
二次 (外部)	R5	R6		
		A		
【一次(内部)評価理由】				
【二次(外部)評価意見等】				
【評価基準】				
[R5～R7成果]				
S: 取組により十分な成果があった				
A: 取組により概ね目標とする成果があった				
B: 取組により一部成果があった				
C: 取組(時期・内容)に改善が必要				
【目標達成状況】				
S: 全ての指標を達成した				
A: 全ての指標の達成率が80%以上				
B: 過半数の指標の達成率が60%以上				
C: 半数以上の指標の達成率が60%未満				
【総合評価】				
S: 十分な成果があった				
A: 概ね目標とする成果があった				
B: 一部成果があった				
C: 成果が不十分で改善が必要				

[illegible]

【年度目標達成狀況】★★★：達成、★★：達成率80%以上、★：達成率60%以上、☆：達成率60%未滿、－：測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

上段: 予算(計画)、中上段: 決算【千円】、中下段: 執行率、下段: 実施有無															
通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段: 事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段: 2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	2023	2024	2025	2026	2027	合計	R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)						
1	① ②	市マスコット活用事業	○	マスコットキャラクター「加東伝の助」の活用推進	558	432				990	○	見直し	令和7年度以降は、シティプロモーション事業に統合		
					527	103				630					
					94.4%	23.8%	—	—	—	63.6%					
2	① ②	シティプロモーション推進事業	○	ブランドイメージの確立、ウェブサイトやSNS等の各種媒体の活用などによる市内外への魅力発信	10,525	8,681	4,553	1,530	1,530	26,819	○	継続		酒米に特化したPRサイトを立ち上げ、全国に向けて市のPRを行った。	
					5,385	7,023	1,896			14,304					
					51.2%	80.9%	41.6%	0.0%	0.0%	53.3%					
3	②	ふるさと納税推進事業	○	民間ポータルサイトの活用や返礼品の充実、各種広告などによるふるさと納税の推進	507,261	401,245	344,075	286,114	286,114	1,824,809	○	継続		積極的に返礼品の追加を行い、寄附額の向上につなげた。	返礼品数を増やすことで、自主財源の確保に努めた。
					265,793	315,789	222,565			804,147					
					52.4%	78.7%	64.7%	0.0%	0.0%	44.1%					
4	②	定住移住促進事業	○	定住移住相談業務	4,540	4,269	4,886	2,038	2,038	17,771	○	継続	都市部での移住相談会に出展し、市の認知度向上に努めた。		
					820	2,951	558			4,329					
					18.1%	69.1%	11.4%	0.0%	0.0%	24.4%					
5										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
6										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
7										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
8										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
9										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
10										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
予算(計画) 事業費 合計					522,884	414,627	353,514	289,682	289,682	1,870,389					
決算 事業費 合計					272,525	325,866	225,019	0	0	823,410					
執行率					52.1%	78.6%	63.7%	0.0%	0.0%	44.0%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	Ⅷ	戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち	計画書
施 策	1	戦略的行政経営の創造	90
主要施策	42	ICTの利活用による市民サービスの安定化と利便性の向上	ページ

部	まちづくり政策部	課	デジタル推進課	所管部長	藤原 英樹	作成担当	役職	係長	氏名	林 陽子
				所管課長	河村 雅人		役職	主査	氏名	奥山 諒
									氏名	

将来あるべき姿
行政サービスのデジタル化やオンライン化により、行政事務が効率化するとともに、市民の利便性が向上しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		R5～R7における成果	次期計画に向けた課題・取組方針	総合評価
① 行政サービスのオンライン化	⇒	令和5年度に導入したオンライン申請について、定期的に開催したDXワーキンググループにおいて職員の意識改革を図る等により活用を促進するとともに、定期的に実施した窓口利用体験調査結果を踏まえて「書かない窓口」の利用対象課を拡大し、更なる市民の利便性の向上と行政事務の効率化につなげた。また、公共施設予約システムを更新し、施設利用に係る手続のオンライン化とキャッシュレス化を実現した。	対面が不要な行政手続については、全てオンラインで完結することを目標に対象手続を拡大する。また、「書かない窓口」の対象窓口を全庁的に拡大し、更なる市民サービスの充実と行政事務の効率化を図る。	一次 (内部) R5～R7成果 S 目標達成状況 S R5 R6 S S
市民などの利便性向上を目的として、マイナンバーカードを活用した各種行政手続のオンライン化やワンストップサービス申請の実装を進めます。	⇒			
② 行政事務のデジタル化	⇒	RPA、AI-OCR等の既存の業務改善ツールを活用し、事務作業を削減する等業務の効率化を推進するとともに、外部専門家による支援を受けながら、若手職員を中心とした実践的なBPRワークショップを開催し、実際に担当する業務を効率化した。また、定期的な情報セキュリティに関する研修、自己点検の実施により、職員全体のITに関する知識を適切に活用する能力の向上など人材育成に取り組んだ。	業務改善ツールの積極的な活用による行政事務の効率化に引き続き取り組むとともに、基幹系業務システムの標準準拠システムへの移行に合わせて業務プロセスの見直しを進める。また、ワーキンググループによる研修を定期的に開催する等、DX推進リーダーの育成に積極的に取り組む。	二次 (外部) R5 R6 S 【一次(内部)評価理由】 【二次(外部)評価意見等】 【評価基準】 [R5～R7成果] S: 取組により十分な成果があった A: 取組により概ね目標とする成果があった B: 取組により一部成果があった C: 取組(時期・内容)に改善が必要 【目標達成状況】 S: 全ての指標を達成した A: 全ての指標の達成率が80%以上 B: 過半数の指標の達成率が60%以上 C: 半数以上の指標の達成率が60%未満 【総合評価】 S: 十分な成果があった A: 概ね目標とする成果があった B: 一部成果があった C: 成果が不十分で改善が必要
行政事務の効率化を目的として、RPA、AI-OCRなどのICTを積極的に活用して業務プロセスを改善するとともに、基幹システムの標準準拠システムへの移行やガバメントクラウドでのシステムなどの共同利用に取り組みます。また、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するため、ICTに関する知識やスキルを保有し、新たな価値を提供できる人材の確保・育成にも取り組みます。加えて、技術革新に対応した情報セキュリティ対策を講じます。	⇒			
	⇒			
	⇒			
	⇒			
	⇒			

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段: 目標値					下段: 実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①行政手続のオンライン申請件数	オンラインで行政手続の申請があった件数	件	↗	↑	119	300	500	800	1,100	1,500	478.3%	1765.0%	1689.6%		
						1,435	8,825	13,517			★★★	★★★	★★★		
②システム(ツール)導入による事務作業の削減時間数	システム(ツール)導入による事務作業の削減時間数	時間	↗	↑	5	300	500	800	1,600	2,500	210.0%	473.6%	264.9%		
						630	2,368	2,119			★★★	★★★	★★★		

【年度目標達成状況】★★★: 達成、★★: 達成率80%以上、★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容[2025(R5)～2027(R9)] 下段:2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	① ②	ICT活用推進事業		ICTを活用した個別事業(書かない窓口等)の推進、事務改善ツール(RPA・ローコードツール、AI-OCR等)の利用促進	157,439	612,155	461,801	661,410	383,233	2,276,038	○	継続			
				153,227	355,733	394,628			903,588						
			○	97.3%	58.1%	85.5%	0.0%	0.0%	39.7%						
				事務改善ツール(RPA・ローコードツール、AI-OCR、書かない窓口等)の導入、公共施設予約システム更新によるキャッシュレス化	○	○	○	○	○						
2	②	情報システム災害時業務継続事業		情報システムの専門知識を有する者の活用、職員研修や停電時を想定した訓練による業務継続のための組織体制強化	15,840	17,424	17,718	17,824	17,824	86,630	○	継続			
				15,576	16,500	16,109			48,185						
				98.3%	94.7%	90.9%	0.0%	0.0%	55.6%						
				情報セキュリティポリシーの改訂、緊急時対応計画の策定	○	○	○	○	○						
3										0					
									0						
				—	—	—	—	—	—						
4										0					
									0						
				—	—	—	—	—	—						
5										0					
									0						
				—	—	—	—	—	—						
6										0					
									0						
				—	—	—	—	—	—						
7										0					
									0						
				—	—	—	—	—	—						
8										0					
									0						
				—	—	—	—	—	—						
9										0					
									0						
				—	—	—	—	—	—						
10										0					
									0						
				—	—	—	—	—	—						
予算(計画) 事業費 合計					173,279	629,579	479,519	679,234	401,057	2,362,668					
決算 事業費 合計					168,803	372,233	410,737	0	0	951,773					
執行率					97.4%	59.1%	85.7%	0.0%	0.0%	40.3%					

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	VIII	戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち	計画書
施 策	2	まちの活力の創造	94
主要施策	46	デジタルの力を活用したまちづくりの推進	ページ

部	まちづくり政策部	課	デジタル推進課	所管部長	藤原 英樹	作成担当	役職	係長	氏名	林 陽子
				所管課長	河村 雅人		役職	主査	氏名	奥山 諒
							役職		氏名	

将来あるべき姿
まちづくりのさまざまな分野においてデジタル技術を積極的に取り入れることで、生活利便性やまちの魅力が向上しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		R5～R7における成果		次期計画に向けた課題・取組方針		総合評価		
① 住みやすく、魅力ある地域づくりのためのデジタル技術の活用【総合戦略】			国・県補助事業（経営発展支援事業）を活用し、認定新規就農者・集落営農組織に対するスマート農業機械の導入を支援するとともに、同地区のスマート農業の実現に向けて、農業農村情報通信環境整備準備会を活用し、近畿農政局・近畿総連局・北播磨県民局等をオブザーバーに迎え、情報通信や土地改良等に精通した16の民間業者のサポートを受け、通信状況調査や先進地視察など地区の将来ビジョン達成に向けた具体的な取組を進めた。また、県と事業者との連携協定に基づくデジタルデバйд対策事業により、スマートフォン教室を実施した。		誰もが日常的にデジタル技術の恩恵を享受できるデジタル社会の実現に向けて、スマートフォン教室の実施や持続的な農業経営の実現に向けた支援など市民に対するきめ細やかなデジタル活用支援に継続的に取り組む。	一次 (内部)	R5～R7成果	A
② DX推進のための基盤整備【総合戦略】			学校現場においてIoT教育環境を整備し、情報や情報手段を主体的に選択して活用する資質・能力の育成、情報モラルの遵守など情報教育の充実に取り組むとともに、オープンデータ活用を推進するため、公開型GISの導入に向けた検討を進めた。		ICT環境の効果的な活用について調査研究を進め、授業改善と家庭学習を充実させることで、論理的思考力や情報活用能力を備えた人材を育成する。		目標達成状況	A
最先端の技術をまちづくりのさまざまな分野で活用することができる人材の確保・育成を進めるとともに、だれもが利用できる通信インフラの整備、まちづくりに活用できるオープンデータの整備などに取り組めます。			また、外部専門家による支援を受けながら、若手職員を中心とした実践的なBPRワークショップ、ワーキンググループによる研修の定期開催等により、デジタル化の中核を担う職員である「DX推進リーダー」の育成に積極的に取り組んだ。		また、ワーキンググループによる研修を定期的に開催する等、DX推進リーダーの育成に積極的に取り組む。		R5R6 A A	A
						二次 (外部)	R5R6 A	
						【一次(内部)評価理由】 地域社会のDX推進に向けた取り組みについて、学校現場、農業分野及び職員のDX人材育成において概ね予定どりの実績があった。		
						【二次(外部)評価意見等】		
						【評価基準】 [R5～R7成果] S：取組により十分な成果があった A：取組により概ね目標とする成果があった B：取組により一部成果があった C：取組(時期・内容)に改善が必要		

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段: 目標値					下段: 実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①②情報通信環境に対する満足度	市民アンケートにおいて、まちのDXに関する環境整備に対して満足と感じる市民の割合	%	—	↑	79.5 (R2 参考値)	—	—	81.0	—	82.0	—	—	95.8%		
						—	—	77.6			—	—	★★		

【年度目標達成状況】★★★: 達成、★★: 達成率80%以上、★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段:2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						R5～R7 成果	次期計画方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	① ②	デジタル化促進事業	○	地域のデジタル化の相談支援、事業者との連携				2,871	1,980	4,851	○	継続			
				認定農業者・法人に対する機械導入に係る相談支援	—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%					
				スマート農業実現に向けた実証実験の実施(ため池監視装置、自動給水栓設置)	○	○	○	○	○						
2										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
3										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
4										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
5										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
6										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
7										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
8										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
9										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
10										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
予算(計画) 事業費 合計					0	0	0	2,871	1,980	4,851					
決算 事業費 合計					0	0	0	0	0	0					
執行率					—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%					

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	Ⅷ	戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち	計画書
施 策	1	戦略的行政経営の創造	91
主要施策	43	人材育成と職場環境の整備	ページ

部	まちづくり政策部	課	人事課	所管部長	藤原英樹	作成担当	役職	副課長	氏名	井上真紀
				所管課長	阿江英俊		役職		氏名	

将来あるべき姿
「加東市を自らがよくする」という熱い想いを持った職員によって、活力あるまちづくりが進み、市民サービスの質や市民満足度が向上しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容						R5～R7における成果					次期計画に向けた課題・取組方針					総合評価			
① 職員の人材育成						複線型人事制度を導入し、希望者全員を専門職コースに配置するなど、人事制度改革を推進した。あわせて、組織風土改革を継続し、職員の主体的な学びや組織参画意識の醸成に取り組んだ結果、エンゲージメントスコアは継続して向上した。これにより、組織内コミュニケーションや部門間の連携が進んだ。さらに、自己開発・自己研鑽の機会を提供し、職員に広く活用された。					職員の能力や意欲を適切に評価し、能力を発揮しやすい組織づくりを進めるため、人事評価制度の充実を図る。また、役職ごとの役割や責任の明確化を進め、効率的で持続可能な組織運営に向けて、組織のフラット化を検討する。あわせて、組織風土改革の取組を継続し、職員の成長と組織力の向上につなげていく。					一次(内部)			
複線型人事制度の導入やジョブローテーションの見直しなど、人事制度改革への取組を推進し、職員の職務に対する意欲ややりがい向上させ、組織を活性化します。また、職員の自学を支援するための体系的・計画的な研修制度を確立するとともに、職員の主体的な自己開発・自己研鑽を促進します。						⇒					⇒					R5～R7成果			
② 働きやすい職場づくり						⇒					⇒					目標達成状況			
市民サービスの質の向上のため、業務の省力化・生産性の向上に取り組めます。また、仕事と生活の調和がとれ、職員がいきいきと働くことができるよう、多様で柔軟な働き方が可能な職場環境づくりに取り組めます。						⇒					⇒					R5 R6			
						⇒					⇒					A A			
						⇒					⇒					二次(外部)			
						⇒					⇒					R5 R6			
						⇒					⇒					A			
						⇒					⇒					【一次(内部)評価理由】			
						⇒					⇒					【二次(外部)評価意見等】			
						⇒					⇒					【評価基準】			
						⇒					⇒					【目標達成状況】			
						⇒					⇒					S: 全ての指標を達成した			
						⇒					⇒					A: 全ての指標の達成率が80%以上			
						⇒					⇒					B: 過半数の指標の達成率が60%以上			
						⇒					⇒					C: 半数以上の指標の達成率が60%未満			
						⇒					⇒					【総合評価】			
						⇒					⇒					S: 十分な成果があった			
						⇒					⇒					A: 概ね目標とする成果があった			
						⇒					⇒					B: 一部成果があった			
						⇒					⇒					C: 成果が不十分で改善が必要			

【年度目標達成状況】★★★: 達成、★★: 達成率80%以上、★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算〔千円〕、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	適正人員確保等事業		第4次定員適正化計画に基づく定員管理と多様な人材を確保するための採用試験の検討及び実施、第5次定員適正化計画の策定	5,779	9,421	12,208	5,271	5,271	37,950	○	継続			
					4,071	6,374	6,650			17,095					
			○	第5次定員適正化計画の策定	70.4%	67.7%	54.5%	0.0%	0.0%	45.0%					
					○	○	○	○	○						
2	①	職員資質向上研修事業		市独自研修(女性職員研修を含む。)の実施、派遣研修への参加促進、その他各職位に必要な資質の習得及び意識改革へ向けた取組	6,366	6,661	6,456	6,991	6,991	33,465	○	継続			
					3,806	5,082	5,529			14,417					
			○		59.8%	76.3%	85.6%	0.0%	0.0%	43.1%					
					○	○	○	○	○						
3	①	組織風土改革事業		職員一人ひとりが熱意とチャレンジ精神をもって主体的に働く職場環境づくり	4,620	4,620	4,620	5,500	5,500	24,860	○	継続			
					4,620	4,620	4,620			13,860					
			○		100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	55.8%					
					○	○	○	○	○						
4	①	人事評価制度事業		人事評価制度の効果的な運用	924	924	924	924	924	4,620	○	継続			
					924	924	924			2,772					
			○		100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	60.0%					
					○	○	○	○	○						
5	②	職場環境整備等事業		メンタルヘルスケア、時間外勤務の抑制、有給休暇の取得促進による安心して働き続けられる職場環境の整備	24,134	24,088	19,564	27,638	27,638	123,062	○	継続			
					20,021	19,904	15,913			55,838					
			○		83.0%	82.6%	81.3%	0.0%	0.0%	45.4%					
					○	○	○	○	○						
6										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
7										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
8										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
9										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
10										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
予算(計画) 事業費 合計					41,823	45,714	43,772	46,324	46,324	223,957					
決算 事業費 合計					33,442	36,904	33,636	0	0	103,982					
執行率					80.0%	80.7%	76.8%	0.0%	0.0%	46.4%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

政策	Ⅷ	戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち	計画書
施策	2	まちの活力の創造	93
主要施策	45	にぎわいと活力があふれるまちづくり	ページ

部	まちづくり政策部	課	まちづくり創造課	所管部長	藤原 英樹	作 成 担 当	役職	副課長	氏名	荻野克弥
				所管課長	小林 寿泰		役職	主査	氏名	吉田彰宏

将来あるべき姿

まちの拠点の形成や産業団地用地の創出に向けた取組が進み、にぎわいと活力があふれるまちになっています。

	協働の取組(市の取組)	計画内容
①	まちの拠点づくりの推進〔総合戦略〕	
		交流やにぎわいを創出するとともに、生活利便性の向上を図るため、まちの拠点施設を核として、民間活力の活用による周辺地域の基盤（環境）整備や、まちの拠点づくりコンソーシアムを中心とした、地域で活躍する事業者や団体などとの連携による事業展開を進めるなど、ハード・ソフトの両面から多様な主体との協働によるまちの拠点づくりを推進します。
②	産業団地用地の創出〔総合戦略〕	
		企業立地の促進や雇用の創出を図るとともに、地域農業を維持するため、関係機関との協議・調整や民間事業者との連携・協力により、産業団地用地の創出に取り組みます。

R5～R7における成果

まちの拠点づくりコンソーシアム等が中心となる各種イベントの実施を通じて、にぎわいの創出（イベント参加者数52,660人）が図れた。また、まちの拠点施設南側の開発に向けた実現方策の検討に加え、民間事業者の進出促進のための上水道整備や官民連携により下川（周辺）整備の着手、宿泊施設の誘致など、都市機能の充実に向けた取組を進めることができた。

山国地区において、開発提案のあった事業者と連携し、関係機関の土地利用調整やインフラ整備に係る協議、地元調整を経て、開手続等を進めるとともに、当該事業者と産業団地創出の推進に向けた協定を締結するなど、実施段階へと取組を進展させることができた。また、県道西脇三田線付近の山林エリアにおいては、事業者との協議調整や地元説明、関係機関協議を重ねることにより、調査研究段階から構想検討段階へと取組を進展させることができた。

次期計画に向けた課題・取組方針

引き続き、各種イベントを実施し、にぎわいを創出していくとともに、地区計画区域内への民間活力の誘引を図る。また、更なる土地利用に向けて、官民連携による開発手法の具体化や、農振除外等の規制をクリアするための特例法関係計画の知事同意などを進め、早期の事業化を目指す。さらに、旧福田・社小学校の跡地等において、民間事業者による活用を推進していく。

山国地区については、官民連携協定に基づき、初期工期の着実な実現を図るとともに、更なる企業立地の拡大を推進していく。また、県道西脇三田線付近の山林エリアについては、開発提案のあった事業者と連携しながら、関係機関協議や地元調整を踏まえ、インフラ整備を含めた開発計画の確立を進め、早期の事業化を目指す。

総合評価			
一次 (内部)	R5～R7成果		A
	目標達成状況		S
	R5 A	R6 A	A
二次 (外部)	R5 A	R6 A	
【一次(内部)評価理由】			
<p>一定のにぎわい創出が図れたこと、また、まちの拠点形成・産業団地創出について、一部において実施段階となったほか、取組フェーズの進展が図れ、概ね目標とする成果が得られたため。</p>			
【二次(外部)評価意見等】			
【評価基準】			
[R5～R7成果]			
S: 取組により十分な成果があった			
A: 取組により概ね目標とする成果があった			
B: 取組により一部成果があった			
C: 取組(時期・内容)に改善が必要			
【目標達成状況】			
S: 全ての指標を達成した			
A: 全ての指標の達成率が80%以上			
B: 過半数の指標の達成率が60%以上			
C: 半数以上の指標の達成率が60%未満			
【総合評価】			
S: 十分な成果があった			
A: 概ね目標とする成果があった			
B: 一部成果があった			
C: 成果が不十分で改善が必要			

[illegible]

【年度目標達成狀況】★★★：達成、★★：達成率80%以上、★：達成率60%以上、☆：達成率60%未滿、－：測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段:2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	まちの拠点づくりコンソーシアム事業	○	まちの拠点づくりコンソーシアム事業(地域活性化イベントの実施、Bio多目的ホールの運営、地域活動団体等の発掘・支援等)の推進によるまちのにぎわい創出	9,900	9,525	9,582	10,800	10,800	50,607	○	継続		まちの拠点施設指定管理者とイベントを同日開催することにより、イベントの規模を拡大し、来場者が増加した。	
				9,899	9,524	9,582			29,005						
				100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	57.3%						
				○	○	○	○	○							
2	①	まちの拠点施設管理運営事業	○	にぎわい交流施設の指定管理者による管理運営等	6,400	6,400	5,898	5,900	5,900	30,498	○	継続			
				5,628	5,583	5,398			16,609						
				87.9%	87.2%	91.5%	0.0%	0.0%	54.5%						
				○	○	○	○	○							
3	①	まちの拠点形成事業	○	まちの拠点形成に向けた周辺土地利用の推進(民間活力の誘導促進) 下川周辺利活用の促進	345	5,862	11,167	133,593	40,342	191,309	△	拡充	まちの拠点施設南側の官民連携による開発について、実現方策・構想検討段階から実施段階へと取組を進展させる。		
				139	4,775	9,778			14,692						
				下川整備に係る検討協議会の開催、下川親水エリア整備(県)、下川周辺整備工事実施設計、社環状線下水道新設工事実施設計	40.3%	81.5%	87.6%	0.0%	0.0%	7.7%					
				○	○	○	○	○							
4	①	宿泊施設誘致事業	○		0					0	○	完了・完了予定	R5事業完了		
				0					0						
				宿泊施設事業者・地区等との調整、宿泊施設の誘致(R5.10月開業済)	—	—	—	—	—						
				○											
5	①	旧社地域小学校跡地等活用事業		旧社地域小学校跡地等の活用推進			147	349	349	845	—	拡充	旧福田小学校及び旧社小学校の跡地等の民間活力による活用について、構想検討段階から実施段階へと取組を進展させる。		
						61			61						
					—	—	41.5%	0.0%	0.0%	7.2%					
							○	○	○						
6	②	産業団地創出事業	○	産業団地の創出推進	345	284	147	242	277,382	278,400	○	拡充	山国地区の企業立地の拡大を図るとともに、その他山林エリアについて構想検討段階から実施段階へと取組を進展させる。		
				106	50	60			216						
				〔山国地区〕地区計画決定、産業団地創出の推進に関する協定の締結	30.7%	17.6%	40.8%	0.0%	0.0%	0.1%					
					○	○	○	○	○						
7										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
8										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
9										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
10										0					
										0					
					—	—	—	—	—	—					
予算(計画) 事業費 合計					16,990	22,071	26,941	150,884	334,773	551,659					
決算 事業費 合計					15,772	19,932	24,879	0	0	60,583					
執行率					92.8%	90.3%	92.3%	0.0%	0.0%	11.0%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

第2次総合計画 後期基本計画 総括シート

政 策	VIII	戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち	計画書
施 策	3	広報・広聴の推進	95
主要施策	47	広報・広聴活動の充実	ページ

部	—	課	秘書広報課	所管部長	—	作成 役職	主任	氏名	友藤 由貴子
				所管課長	三和田剛浩	役職		氏名	

将来あるべき姿

多様な媒体による市民への広報・広聴を通じて行政と市民相互の情報共有を図ることで、市民の行政への理解・関心が深まり、積極的な市政への参画が進んでいます。

協働の取組(市の取組) 計画内容	
① 情報提供の充実【総合戦略】	
広報かとうや市ホームページ、CATV、SNSなど、世に応じた媒体を活用し、記事に対する市民の声や反応を積極的に拾い上げ、情報発信に反映します。また、地域や各種団体の活動情報を積極的に取り入れることで、多くの市民が関わる情報発信に取り組みます。	⇒
② 市民ニーズの市政への反映	
市長への手紙やパブリックコメントなどの広聴により、市民ニーズを的確に把握するとともに、市政への反映に努めます。	⇒
	⇒
	⇒
	⇒
	⇒
	⇒

R5～R7における成果
広報かとうや市ホームページ、CATV、SNSなどの各媒体の特色を生かし、単体ではなく連動した情報発信を行い、SNSのフォロワー数も順調に増えている。特に広報紙については、県や近畿のコンクールで入賞し、組み写真の部では特選(県1位)を受賞したことは、見やすい紙面づくりに心掛けてきた成果であると考え。また、CATVの伝送路使用料は事業者と協議・調整を行った結果、R7から従来の使用料の7割減という大幅な事業費削減を行うことができた。
市長への手紙件数は、3年間で354件で、メール、郵送、投函と様々な方法で提出いただく体制ととっている。メールについては、市長への手紙以外にも、ホームページからのお問い合わせという形でメールで送信されるものが増えており、氏名、住所、電話番号の相手が特定できるものには、回答するよう努めている。

次期計画に向けた課題・取組方針
情報媒体の多様化により、これまでの体制や方法では急速に進んでいるデジタル化に対応できない。各課からの情報を効率よく集約していくためには、各種媒体ごとに提供方法の統一化を図るとともに、職員一人一人の情報発信に係る意識を醸成する取組が必要である。他市の成功例も参考にしながら、効率的かつ効果的な情報発信に取り組んでいく。
メールを中心として問い合わせや意見が増えており、対応に時間がかかってしまうことが課題になっている。早期に市長まで回付したのちしっかりと回答するものと、すぐ担当課と調整して対応するものと区別して行っている。市民ニーズを市政に反映するためには広聴業務は重要であるので、進捗をしっかりと管理し対応していく。

総合評価		
一次 (内部)	R5～R7成果	A
	目標達成状況	A
	R5 B	R6 A
二次 (外部)	R5 	R6 A
【一次(内部)評価理由】		
【二次(外部)評価意見等】		
【評価基準】		
[R5～R7成果]		
S: 取組により十分な成果があった		
A: 取組により概ね目標とする成果があった		
B: 取組により一部成果があった		
C: 取組(時期・内容)に改善が必要		
[目標達成状況]		
S: 全ての指標を達成した		
A: 全ての指標の達成率が80%以上		
B: 過半数の指標の達成率が60%以上		
C: 半数以上の指標の達成率が60%未満		
[総合評価]		
S: 十分な成果があった		
A: 概ね目標とする成果があった		
B: 一部成果があった		
C: 成果が不十分で改善が必要		

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段: 目標値					下段: 実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①市広報かとうに対する意見の提出件数	広報かとうに対する意見・要望の提出状況	件	—	↑	—	30	30	36	36	36	20.0%	153.3%	80.6%		
①②市民に開かれたまちづくりの推進に関する取組に対する満足度	市民アンケートにおいて、広報・広聴などの取組を満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	81.2 (R4)	—	—	83.6	—	85.0	—	—	97.6%		
						—	—	81.6			—	—	★★		

【年度目標達成状況】★★★: 達成、★★: 達成率80%以上、★: 達成率60%以上、☆: 達成率60%未満、—: 測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2025(R7)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R5～R7 成果	次期計画 方向性	方向性の詳細	効果向上・効率化に 向けた工夫・改善	行財政改革の取組
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	KCV施設運営事業	○	KCV施設の管理運営、CATVを効果的に活用した市内外への情報発信	192,508	194,785	84,007	102,072	90,083	663,455	○	継続			CATVの伝送路使用料につ いて、事業者と協議・調整 を行った結果、R7から使用 料の大幅な減額による事業 費削減を行うことができた。
			○		190,335	186,697	82,840		0.0%	459,872					
					98.9%	95.8%	98.6%	0.0%	0.0%	69.3%					
2	① ②	広報・広聴事業	○	広報かとうの発行、報道機関への情報提供、市に対する意見への対応	12,049	11,364	12,982	13,232	12,304	61,931	○	継続			
			○		8,855	10,509	9,226			28,590					
					73.5%	92.5%	71.1%	0.0%	0.0%	46.2%					
3	① ②	情報管理事業	○	市ホームページ、SNSの管理・運営、各情報媒体を活かした効果的な情報発信	2,603	2,534	2,534	2,534	2,534	12,739	○	継続			
			○		2,303	2,534	2,534			7,371					
					88.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	57.9%					
4	②	表彰事業 (市政20周年記念式典)	○				1,172			1,172	○	実施予 定			
			○				753			753					
				市政20周年記念式典における表彰事務の執行			64.2%			64.2%					
5										0					
			○							0					
					—	—	—	—	—	—					
6										0					
			○							0					
					—	—	—	—	—	—					
7										0					
			○							0					
					—	—	—	—	—	—					
8										0					
			○							0					
					—	—	—	—	—	—					
9										0					
			○							0					
					—	—	—	—	—	—					
10										0					
			○							0					
					—	—	—	—	—	—					
予算(計画) 事業費 合計					207,160	208,683	100,695	117,838	104,921	739,297					
決算 事業費 合計					201,493	199,740	95,353	0	0	496,586					
執行率					97.3%	95.7%	94.7%	0.0%	0.0%	67.2%					

※「予算(計画)」欄は当初予算額を記載しているため、補正予算等による事業費の増加により執行率が100%を超える場合があります。
また、経費縮減等により、計画どおり事業を実施していても執行率が低い数値となる場合があります。事業の評価については「R5～R7成果」欄をご確認ください。

意見概要

通番	総合戦略	意見概要	担当課
1	基本目標1「県内No.1の子育て・教育環境づくりで親子の夢を叶える」	暗い印象がある社学園のSSルームの環境改善について	学校教育課
2	基本目標1「県内No.1の子育て・教育環境づくりで親子の夢を叶える」	数学の授業で導入されている習熟度別のクラス分けの他の教科での導入について	学校教育課
3	基本目標1「県内No.1の子育て・教育環境づくりで親子の夢を叶える」	地域との交流を通じ、子どもたちの夢や目標、地域の魅力を伝える学習について	学校教育課
4	基本目標3「安全・安心で快適な住みよいまちをつくる」	プールへの侵入事案のあった社学園の防犯対策について	教育総務課
5	基本目標3「安全・安心で快適な住みよいまちをつくる」	今後の文化財行政の取組について	生涯学習課